

改正	昭和27年4月1日	昭和29年4月1日
	昭和30年4月1日	昭和31年4月1日
	昭和33年4月1日	昭和35年4月1日
	昭和37年4月1日	昭和39年4月1日
	昭和42年4月1日	昭和43年4月1日
	昭和45年4月1日	昭和46年4月1日
	昭和47年4月1日	昭和48年4月1日
	昭和49年4月1日	昭和50年4月1日
	昭和51年4月1日	昭和52年4月1日
	昭和53年4月1日	昭和54年4月1日
	昭和55年4月1日	昭和56年4月1日
	昭和57年4月1日	昭和58年4月1日
	昭和59年4月1日	昭和60年4月1日
	昭和61年4月1日	昭和62年4月1日
	昭和63年4月1日	平成元年4月1日
	平成2年4月1日	平成3年4月1日
	平成3年7月1日	平成4年4月1日
	平成5年4月1日	平成6年4月1日
	平成7年4月1日	平成8年4月1日
	平成9年4月1日	平成10年4月1日
	平成11年4月1日	平成12年4月1日
	平成13年4月1日	平成14年4月1日
	平成14年10月1日	平成15年4月1日
	平成16年4月1日	平成17年4月1日
	平成18年4月1日	平成19年4月1日
	平成20年4月1日	平成21年4月1日
	平成22年4月1日	平成23年4月1日
	平成24年4月1日	平成25年4月1日
	平成26年4月1日	平成27年4月1日
	平成28年4月1日	

## 第1章 目的及び使命

第1条 本大学は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、更にキリストの教えに従い、玉川学園建学の理想にかんがみ、「全人教育」をもって教育精神とし、広い教養と深い専門の学術の理論及び応用を教授する。宗教、芸術教育を重んじ魂を醇化し、浄らかな情操を養成し、厳粛な道義心を涵養することをもって人格を陶冶し、併せて人類の幸福と世界の文化の進展に寄与するものとする。

2 本大学の各学部についての人材養成等教育研究に係る目的は、別表第1に定める。

第2条 本大学は、その教育研究水準の維持向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の自己点検及び評価に関する細目は別にこれを定める。

3 本大学の授業及び研究指導の内容・方法の改善を図るため、組織的な研修・研究を実施する目的で、玉川大学FD委員会規程を別に定める。

## 第2章 学部・学科

第3条 本大学に文学部、農学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、リベラルアーツ学部、観光学部及び通信教育部を置く。

2 通信教育部に関しては、別に定める玉川大学通信教育部学則による。

第4条 文学部に人間学科及び英語教育学科、農学部生物資源学科、生物環境システム学科及び生命化学科、工学部に機械情報システム学科、ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科及びエンジニアリングデザイン学科、経営学部国際経営学科、教育学部に教育学科及び乳幼児発達学科、芸術学部パフォーミング・アーツ学科、メディア・デザイン学科及び芸術教育学科、リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科、観光学部に観光学科を置く。

### 第3章 大学院

第5条 本大学に大学院を置く。

2 大学院に関しては、別に定める玉川大学大学院学則による。

### 第4章 学年、学期及び休業日

第6条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学期は学年を2期に分け、それぞれの学期を1セメスターとする。期間については、教授会及び玉川大学部長会（以下「大学部長会」という。）の議を経て学長がこれを定める。

3 教育上の必要があるときは、夏季休業、冬季休業及び春季休業の期間に特別学期を設けることができる。

第7条 本大学の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (2) 日曜日
- (3) 夏季休業日
- (4) 冬季休業日
- (5) 春季休業日

2 前項第3号から第5号の休業日の期間は、別に定める。

3 第1項各号に規定する以外の休業日については、教授会及び大学部長会の議を経て学長がこれを定める。

### 第5章 学部学科別定員

第8条 本大学の定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	160人		640人
人間学科	80人		320人
英語教育学科	80人		320人
農学部	285人		1,140人
生物資源学科	105人		420人
生物環境システム学科	70人		280人
生命化学科	110人		440人
工学部	240人		960人
機械情報システム学科	60人		240人
ソフトウェアサイエンス学科	60人		240人
マネジメントサイエンス学科	60人		240人
エンジニアリングデザイン学科	60人		240人
経営学部	130人		520人
国際経営学科	130人		520人
教育学部	315人		1,260人
教育学科	240人		960人
乳幼児発達学科	75人		300人
芸術学部	270人		1,080人

パフォーミング・アーツ学科	130人		520人
メディア・デザイン学科	90人		360人
芸術教育学科	50人		200人
音楽コース	30人		120人
美術・工芸コース	20人		80人
リベラルアーツ学部	160人		640人
リベラルアーツ学科	160人		640人
観光学部	90人		360人
観光学科	90人		360人
計	1,650人		6,600人

## 第6章 修業年限及び教育課程

第9条 本大学の修業年限は、4年とする。なお、在学年数は、8年を超えることはできない。

2 編入学生の修業年限は、3年次編入にあつては2年、2年次編入にあつては3年とし、在学年数はそれぞれ4年、6年を超えることはできない。

第10条 授業科目は、ユニバーシティ・スタンダード科目（玉川教育・FYE科目群、人文科学科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、言語表現科目群、学際科目群、教職関連科目群、資格関連科目群）、学部学科関連科目に区分し、必修科目及び選択科目に分ける。授業科目名及び単位数は、別表第2-①のとおりとする。

第11条 各学部の修業年限の間に履修しなければならない授業科目及び単位数については、次のとおりとする。なお、細部については学生要覧による。

(1) ユニバーシティ・スタンダード科目（玉川教育・FYE科目群）より7単位

(2) ユニバーシティ・スタンダード科目（人文科学科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、言語表現科目群、学際科目群、教職関連科目群、資格関連科目群）については、各学部学科の履修規定による。

(3) 学部学科関連科目については、各学部学科の履修規定による。

2 教育上特に必要と認めるときは、本大学大学院及び専攻科の授業科目を履修させることができる。

3 教育職員免許状の授与を受けようとする学生は、教育職員免許法に基づき、同法第4条に定める免許状の種類に応じて、教育職員免許法施行規則に規定するそれぞれの科目及び単位数を修得しなければならない。

4 本大学で修得できる教育職員免許状の種類及び教科は、別表第3-①のとおりとする。

5 児童福祉法による保育士の資格を得ようとする学生は児童福祉法施行規則に規定する教科目及び単位数を修得しなければならない。

6 学校図書館法に基づく司書教諭、図書館法に基づく司書、社会教育法に基づく社会教育主事又は博物館法に基づく学芸員の資格を得ようとする者はそれぞれの法令に規定する科目及び単位数を修得しなければならない。

7 食品衛生法に基づく食品衛生管理者、同法施行令に基づく食品衛生監視員の資格を得ようとする者はそれぞれの法令に規定する科目及び単位数を修得しなければならない。

8 工事担任者の資格（国家試験受験科目一部免除）を得ようとする者は、工事担任者規則に規定する科目及び単位数を修得しなければならない。

第12条 授業は講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、文部科学大臣の定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

第13条 各授業科目の単位数は、各学部教授会において定めるものとする。

2 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

- (2) 演習については、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする。
  - (3) 実験、実習及び実技については、30時間又は45時間の授業をもって1単位とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

#### 第7章 単位の授与、卒業の要件及び学士

第14条 授業科目の単位の認定は、試験による。

- 2 試験の種類は次のとおりとし、その種類に応じて行う。
- (1) 平常試験は、必要に応じ適宜行う。
  - (2) 定期試験は、学期末の定期試験期間内に行う。
  - (3) 追試験は、やむを得ない理由により定期試験を受けることのできなかった者のためにのみ追試験期間内に行う。
  - (4) 単位認定試験は成績評価保留（インコンプリート）の者のためにのみ所定の期間内に行う。
- 3 試験の方法は、筆記、口述、レポート又は実技によるものとする。
- 4 試験の成績の評点は、S（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、F（59～0点）の5種とし、S、A、B、Cを合格、Fを不合格とする。また、授業科目によってはP（60点以上）を合格、F（59点以下）を不合格とすることができる。
- 5 定期試験及び単位認定試験は、別に定める本大学試験規程によって実施する。

第15条 前条の試験に合格した学生には、第13条所定の授業科目の単位を与える。

第16条 本大学が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学とあらかじめ協議の上、当該大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項により履修した授業科目の単位は、60単位を超えない範囲で本大学において履修修得した単位として認定することができる。

第17条 本大学が教育上有益であると認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修について、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることの出来る単位数は、前条第2項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする

第18条 学生が本大学入学前に大学又は短期大学において修得した単位（既修得単位）について本大学が教育上有益と認めるときは、本大学において履修修得した単位として認定することができる。ただし、この認定に関連して修業年限の短縮は行わない。

- 2 前項による単位の認定は、第16条、第27条第4項による単位認定と合わせて60単位を超えない範囲で行うものとする。
- 3 前2項に定める単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

第19条 卒業の要件は、4年以上在学し、第11条第1項各号に定める単位を含め、124単位以上を修得することとする。

- 2 前項の単位には、第11条第2項の修得単位を含めることはできない。
- 3 卒業の決定は、前項の要件を満たした学生に対し、教授会の議を経て学長がこれを行う。
- 4 前項により卒業が決定した者には、玉川大学学位規程に基づき、卒業した学部に応じ学士の学位を授与し「学位記」を交付する。

#### 第8章 入学、転学部・転学科、編入学、転入学、留学、休学、復学、退学、除籍及び再入学

第20条 入学の時期は、学期の初めとする。

第21条 本大学に入学の資格を有する者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）

第22条 本大学に入学を志願する者は、入学志願書、出身高等学校又は中等教育学校の調査書、その他、入学試験実施要項で指定する関係書類に、別表第4一①に定める入学検定料を添えて提出しなければならない。ただし、出身高等学校又は中等教育学校の調査書については、該当する入学資格により、入学試験実施要項で指定する他の証明書等の提出をもって代えることができる。

第23条 入学を許可された者は、本大学所定の様式に従って、保証人と連署の誓約書を提出しなければならない。

第24条 保証人は、親権者又は学生の3親等以内の成年者で、独立の生計を営む者又はこれにかわるべき者とする。

2 保証人は、学生の生活と教育に関する一切の責任を負うものとする。

第25条 本大学の学生が他の学部・学科へ転学部・転学科を志望するときは、転学部・転学科希望願を提出して許可を受けるものとし、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

第26条 他の大学等に在学した者で、次の各号の一に該当する者が本大学に編入学（転入学）を希望するときは、選考の上入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者（編入学）

(2) 短期大学を卒業した者（編入学）

(3) 高等専門学校を卒業した者（編入学）

(4) 他の大学に在学している者（転入学）

2 本大学に編入学を志願する者は、編入学志願書、卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書、成績証明書、その他編入学試験実施要項で指定する関係書類、転入学を志願する者は、転入学志願書、在学証明書、成績証明書、その他転入学試験実施要項で指定する関係書類に、別表第4一①に定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

3 編入学（転入学）前の既修得単位の認定、編入（転入）学年及び入学後の履修科目については、各学部教授会において決定する。

4 編入（転入）学生の授業料等は別表第4一①（ただし、入学金を除く）にかかわらず、編入（転入）学科の編入（転入）学年と同学年の入学時の授業料等を適用する。ただし、玉川学園女子短期大学及び本大学からの編入生は入学金を徴収しない。

5 本大学から他の大学等へ編入学又は転入学を志望する学生は、退学願を提出して許可を受けるものとする。

第27条 本大学が教育上有益と認めたときは、学生が外国の大学へ留学することを認めることがある。

2 前項による留学期間は、原則として1年以内とする。

3 留学期間は、在学年数に算入する。

4 留学によって修得した単位は、教授会の議を経て、第16条第2項に準じ認定することができる。

5 留学期間中の授業料等については、別表第4一①に定める。

6 留学に関する事項は別に定める。

第28条 疾病その他の理由によって2カ月以上修学のできない学生は、保証人連署の上願い出で、許可を得た上で休学することができる。

2 休学期間は、当該年度限りとする。ただし、疾病等やむを得ないと認められる場合には、願い出により翌年度に延長を許可することができる。

3 休学期間は、卒業に所要の在学年数には算入しない。ただし、休学期間は、通算して4年を超えることはできない。

4 休学期間中の授業料等については、別表4一①にかかわらず当該年次の授業料、教育研究諸料及び施設設備金の2分の1相当額とする。

第29条 休学の理由がやんだときは、その旨を復学願に記し、保証人連署の上願い出で、許可を得て復学することができる。

第30条 疾病その他の理由によって退学しようとする者は、保証人連署の上願い出て、許可を得た上で退学することができる。

第31条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- (1) 第9条に規定する在学年数を経て、なお所定の課程を修了できない者
- (2) 学費の納付を怠り、督促を受けても、なお納付しない者
- (3) 第28条第3項に規定する休学期間の満了日に達しても、なお就学できない者
- (4) 休学期間の延長又は復学の手続きを怠った者
- (5) 死亡又は行方不明者

第32条 本大学を途中で退学した者（依願退学者）又は除籍者（学費未納による除籍者）が再入学を願い出たときは、欠員のある場合に限り、選考の上、入学を許可することがある。

2 再入学に関する事項は玉川大学再入学に関する規程による。

第33条 本大学の学生は、同時に学校教育法による他の学校に在学することはできない。

第34条 入学、転学部・転学科、編入学、転入学、留学、休学、復学、除籍及び再入学の許可並びに承認は教授会の議を経て、学長がこれを決定する。

#### 第9章 賞罰

第35条 本大学学生で、品行方正、学術優秀な者、また学生の模範となるべき行いをした者は、教授会の議を経て、これを賞することができる。

2 前項に定める学生表彰に関する事項は、玉川大学学生表彰規程による。

第36条 本大学学則に違背し、又は学生の本分に反する行為のあった者は、別に定める玉川大学学生処分規程によって懲戒する。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

2 停学は、確定期限を付す有期の停学及び確定期限を付さない無期の停学とする。

3 停学の期間が1か月以上にわたるときは、その期間は、第9条の期間に算入し、第19条の卒業の要件として在学すべき期間に算入しない。

第37条 次の各号の一に該当する学生は、教授会の議を経て、これを退学に処することができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反したと認められる者

#### 第10章 授業料、入学金、奨学金その他

第38条 本大学の授業料・教育研究諸料・施設設備金及び入学金（以下「授業料等」という。）、入学検定料は、別表第4—①のとおりとする。

2 既に納入した授業料等は、原則としてこれを返還しない。

3 所定の期日までに、正当な理由がなく、授業料等を納入しない学生は除籍することができる。

第39条 本大学学生で成績優秀な者、成績優秀かつ経済的に修学が困難な者があるときは、選考の上、奨学金を給付することがある。

2 奨学金に関する事項は、玉川大学奨学金規程による。

#### 第11章 教職員組織

第40条 本大学に次の教職員を置く。

学長、学部長、教授、准教授、助教、講師、助手、事務職員、技術職員及びその他の教職員。

#### 第12章 大学部長会及び教授会

第41条 本大学に、大学部長会を置く。

2 大学部長会は、学長がこれを招集開会して、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

- (1) 教育、研究及びこれに関連する人事に関する基本方針等、その運営における全学的な事項
- (2) 教授会の審議に関する基本的共通的な事項
- (3) 各種委員会に関する事項
- (4) 本大学学則、その他関係規程等の制定・改廃及び運用に関する事項
- (5) 学長の諮問に関する事項
- (6) その他本大学の運営に属する必要と認められる重要な事項

3 大学部長会の運営については、別に定める玉川大学部長会運営規程による。

第42条 各学部それぞれ教授会を置く。

2 教授会は、その学部の専任教授をもって組織する。

3 教授会は審議事項について必要があるとき、准教授、助教、講師及びその他必要な教職員を出席させることができる。

4 教授会は、定例に学部長がこれを招集する。ただし、学長が必要と認めるときは、これを招集することができる。

5 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

6 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下「学長等」という）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

7 教授会の運営については、玉川大学教授会等運営規程による。

第43条 学長が必要と認めるときは、又は教授会から特に要求があったときは、学長は全学教授会を招集することができる。

2 全学教授会は全学の専任教授をもって組織する。

3 全学教授会は審議事項について必要があるとき、准教授、助教、講師及びその他必要な教職員を出席させることができる。

4 全学教授会は、学長が特に必要と認められた本大学の重要事項を審議する。

第44条 学長が必要と認めるとき、各種委員会等を組織し、それぞれの専門分野について審議研究することができる。なお、細部については、玉川大学教授会等運営規程による。

### 第13章 専攻科

第45条 本大学に次の専攻科及び専攻を置く。

芸術専攻科 芸術専攻

2 専攻科は玉川大学の建学の精神に則り、学部・学科の教育の基礎の上に、精深な専門の理論及び応用の研究指導を行い、専門的技能者を養成し、もって文化の進展に寄与することを目的とする。

第46条 専攻科の定員は次のとおりとする。

芸術専攻科 芸術専攻 10人

第47条 専攻科の修業年限は、1年とする。ただし、在学年数は2年を超えることはできない。

第48条 専攻科の授業科目及び履修方法は、別表第2—②のとおりとする。

2 教育職員免許状の授与を受けようとする者は、その免許状の種類・教科に応じて、教育職員免許法に定められた単位を修得しなければならない。

3 専攻科で修得できる教育職員免許状の種類及び教科は、別表第3—②のとおりとする。

第49条 専攻科修了の要件は、本専攻科に1年以上在学し、前項第48条の規定に基づいて授業科目を履修し、30単位以上を修得しなければならない。

2 前項の要件を満たした者には、修了証書を授与する。

第50条 本専攻科に入学できる者は、次の各号の一に該当し、かつ、所定の入学試験に合格した者とする。

(1) 大学を卒業した者

(2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(3) 文部科学大臣の指定した者

(4) 本大学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 入学を許可された者は、所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

3 入学の時期は、毎年4月とする。

第51条 本専攻科の授業料、教育研究諸料、施設設備金及び入学金、入学検定料は、別表第4—②のとおりとする。

第52条 専攻科の学事を運営するために、専攻科教授会を置く。

- 2 専攻科教授会は、次の教員をもって組織する。
  - (1) 専攻科主任
  - (2) 当該学部長
  - (3) 専攻科担当教授及び准教授
- 3 専攻科教授会は審議事項について必要があるとき、助教、講師及びその他必要な教職員を出席させることができる。
- 4 専攻科教授会は、第42条第5項の教授会の審議事項について、専攻科に係る事項について審議する。

第53条 専攻科に関して本章に定める以外のことについては、本大学学則の各条項による。

#### 第14章 教育・学術情報図書館、教育博物館、研究所等に関する事項

第54条 本大学に玉川大学教育・学術情報図書館を置く。

- 2 本大学の教職員及び学生は、別に定める教育・学術情報図書館規程に従って図書を閲覧することができる。

第55条 本大学に教育博物館を置く。

- 2 教育博物館に関する規程は、別にこれを定める。

第56条 本大学に学術研究所を置く。

- 2 学術研究所に関する規程は、別にこれを定める。

第57条 本大学に脳科学研究所を置く。

- 2 脳科学研究所に関する規程は、別にこれを定める。

第58条 本大学に量子情報科学研究所を置く。

- 2 量子情報科学研究所に関する規程は、別にこれを定める。

第59条 本大学に継続学習センターを置く。

- 2 継続学習センターに関する規程は、別にこれを定める。

第60条 本大学に教師教育リサーチセンターを置く。

- 2 教師教育リサーチセンターに関する規程は、別にこれを定める。

第61条 本大学に国際教育センターを置く。

- 2 国際教育センターに関する規程は、別にこれを定める。

第62条 本大学に試験場、農場・演習林及び工場を置く。

- 2 農場及び工場に関する規程は、別にこれを定める。

第63条 本大学教育学部に全人教育研究センター及び健康教育研究センターを置く。

- 2 全人教育研究センター及び健康教育研究センターに関する規程は、別にこれを定める。

第64条 本大学にELFセンターを置く。

- 2 ELFセンターに関する規程は、別にこれを定める。

第65条 本大学にTAPセンターを置く。

- 2 TAPセンターに関する規程は、別にこれを定める。

#### 第15章 委託生、科目等履修生、聴講生、研究生及び外国人学生に関する事項

第66条 政府又は他の機関から委託された者は、定員にさしつかえがなければ、受講を許可することができる。

第67条 本大学で開講する授業科目のうち、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、教授会の議を経て、科目等履修生又は聴講生として履修を許可することができる。

- 2 科目等履修生として履修した授業科目の単位の授与については、第14条を準用する。ただし、第21条に掲げる資格を有する者に限る。

第68条 本大学で特定の課題について研究をすすめるよう希望する者があるときは、教授会の議を経て、研究生として在籍を許可することができる。ただし、玉川大学大学院学則第22条に掲げる資格を有する者に限る。

第69条 委託生、科目等履修生、聴講生及び研究生には、第19条を適用しない。

第70条 委託生、科目等履修生、聴講生及び研究生は、科目等履修料、聴講料又は在籍料を納付しなければならない。

- 2 科目等履修料及び聴講料は、1単位につき講義科目29,000円、演習科目30,000円とする。
- 3 在籍料及び選考料については、別に定める。



第71条 外国人で本大学に入学を希望する者があるときは、在日本外国公館の証明書がある者に限り、外国人学生として特別に入学を許可することがある。

第72条 委託生、科目等履修生、聴講生、研究生及び外国人学生に関しては、本大学学則を準用する。

#### 第16章 公開講座

第73条 本大学は、時期によって公開講座を開くことができる。

2 公開講座に関する規程は、別にこれを定める。

#### 第17章 診療所（健康院）

第74条 本大学に診療所（健康院）を置く。

2 診療所（健康院）に関する規程は、別に定める。

#### 附 則

この学則は、昭和24年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和27年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和29年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和30年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和31年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和33年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和35年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和37年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和39年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和42年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和43年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和45年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和46年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和49年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず、昭和51年度から昭和53年度までの間、文学部教育学科、英米文学科、外国語学科、芸術学科と農学部農学科、農芸化学科の総定員は次のとおりとする。

学部・学科	総定員
-------	-----

	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
文学部	1,800人	2,000人	2,200人
教育学科	450人	500人	550人
英米文学科	450人	500人	550人
外国語学科	450人	500人	550人
芸術学科	450人	500人	550人
農学部	400人	480人	560人
農学科	200人	240人	280人
農芸化学科	200人	240人	280人
計	2,200人	2,480人	2,760人

附 則

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず昭和63年度から昭和65年度までの間、工学部情報通信工学科の総定員は次のとおりとする。

	昭和63年度	昭和64年度	昭和65年度
総定員	230人	260人	290人

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	学部・学科	入学定員	学部・学科	入学定員
文学部	840人	農学部	220人	工学部	400人
教育学科	210人	農学科	110人	機械工学科	100人
英米文学科	210人	農芸化学科	110人	電子工学科	100人
外国語学科	210人			情報通信工学科	100人
芸術学科	210人			経営工学科	100人

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、第9条の規定にかかわらず平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科	入学定員				
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
文学部	840人	800人	770人	770人	750人
教育学科	210人	200人	190人	190人	180人
英米文学科	210人	210人	210人	210人	210人
外国語学科	210人	200人	190人	190人	180人
芸術学科	210人	190人	180人	180人	180人
農学部	220人	220人	210人	210人	200人
農学科	110人	110人	105人	105人	100人
農芸化学科	110人	110人	105人	105人	100人
工学部	360人	360人	360人	320人	320人
機械工学科	90人	90人	90人	80人	80人
電子工学科	90人	90人	90人	80人	80人
情報通信工学科	90人	90人	90人	80人	80人
経営工学科	90人	90人	90人	80人	80人
計	1,420人	1,380人	1,340人	1,300人	1,270人

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

(農学部の農学科ならびに農芸化学科の存続に関する経過措置)

農学部の農学科ならびに農芸化学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成13年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第9条の規定にかかわらず平成13年度から16年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学部	740人	3,260人	710人	3,130人	710人	3,000人	690人	2,850人
教育学科	200人	830人	190人	810人	190人	790人	180人	760人
英米文学科	150人	780人	150人	720人	150人	660人	150人	600人
外国語学科	200人	830人	190人	810人	190人	790人	180人	760人
芸術学科	190人	820人	180人	790人	180人	760人	180人	730人
農学部	220人	880人	210人	870人	210人	860人	200人	840人
生物資源学科	110人	440人	105人	435人	105人	430人	100人	420人
応用生物化学科	110人	440人	105人	435人	105人	430人	100人	420人
工学部	360人	1,520人	360人	1,480人	320人	1,400人	320人	1,360人
機械工学科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
電子工学科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
情報通信工学科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
経営工学科	90人	380人	90人	370人	80人	350人	80人	340人
経営学部	180人	180人	180人	360人	180人	570人	180人	780人
国際経営学科	180人	180人	180人	360人	180人	570人	180人	780人
計	1,500人	5,840人	1,460人	5,840人	1,420人	5,830人	1,390人	5,830人

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

(文学部の教育学科、英米文学科、外国語学科ならびに芸術学科の存続に関する経過措置)

文学部の教育学科、英米文学科、外国語学科ならびに芸術学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成14年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第9条の規定にかかわらず平成14年度から平成16年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成14年度			平成15年度			平成16年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	280人	40人	2,700人	280人	40人	2,140人	280人	40人	1,620人
人間学科	80人	10人	80人	80人	10人	160人	80人	10人	250人
国際言語文化学科	200人	30人	200人	200人	30人	400人	200人	30人	630人
教育学科	—	—	620人	—	—	410人	—	—	200人
英米文学科	—	—	570人	—	—	360人	—	—	150人
外国語学科	—	—	620人	—	—	410人	—	—	200人
芸術学科	—	—	610人	—	—	400人	—	—	190人
農学部	220人	—	880人	220人	—	880人	220人	—	880人
生物資源学科	110人	—	440人	110人	—	440人	110人	—	440人
応用生物化学科	110人	—	440人	110人	—	440人	110人	—	440人
工学部	360人	—	1,480人	320人	—	1,400人	320人	—	1,360人
機械工学科	90人	—	370人	80人	—	350人	80人	—	340人

電子工学科	90人		370人	80人		350人	80人		340人
情報通信工学科	90人		370人	80人		350人	80人		340人
経営工学科	90人		370人	80人		350人	80人		340人
経営学部	180人	30人	360人	180人	30人	570人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	360人	180人	30人	570人	180人	30人	780人
教育学部	200人		200人	200人		400人	200人		600人
教育学科	200人		200人	200人		400人	200人		600人
芸術学部	190人		190人	190人		380人	190人		570人
パフォーミング・アーツ学科	110人		110人	110人		220人	110人		330人
ビジュアル・アーツ学科	80人		80人	80人		160人	80人		240人
計	1,430人	70人	5,810人	1,390人	70人	5,770人	1,390人	70人	5,810人

附 則

この学則は、平成14年10月1日から施行する。

この学則の施行に伴い「玉川大学専攻科通則（昭和54年制定）」を廃止する。

附 則

1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

2 第8条の規定にかかわらず平成15年度から平成17年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員
文学部	435人		2,295人	435人	40人	1,930人	435人	50人	1,675人
人間学科	80人		160人	80人	10人	250人	80人	10人	340人
国際言語文化学科	200人		400人	200人	30人	630人	200人	30人	860人
リベラルアーツ学科	155人		155人	155人		310人	155人	10人	475人
教育学科	—		410人	—		200人	—		—
英米文学科	—		360人	—		150人	—		—
外国語学科	—		410人	—		200人	—		—
芸術学科	—		400人	—		190人	—		—
農学部	220人		880人	220人		880人	220人		880人
生物資源学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
応用生物化学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
工学部	320人		1,400人	320人		1,360人	320人		1,320人
機械工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
電子工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
情報通信工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
経営工学科	80人		350人	80人		340人	80人		330人
経営学部	180人	30人	570人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	570人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
教育学部	250人		450人	250人		700人	250人		950人
教育学科	200人		400人	200人		600人	200人		800人
乳幼児発達学科	50人		50人	50人		100人	50人		150人
芸術学部	190人		380人	190人		570人	190人		760人
パフォーミング・アーツ学科	110人		220人	110人		330人	110人		440人
ビジュアル・アーツ学科	80人		160人	80人		240人	80人		320人

計	1,595人	30人	5,975人	1,595人	70人	6,220人	1,595人	80人	6,365人
---	--------	-----	--------	--------	-----	--------	--------	-----	--------

附 則

- この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- (工学部の機械工学科、電子工学科、情報通信工学科ならびに経営工学科の存続に関する経過措置)

工学部の機械工学科、電子工学科、情報通信工学科ならびに経営工学科は、改正後の学則第4条の規定に係わらず平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定に係わらず平成16年度から平成18年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成16年度			平成17年度			平成18年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	435人	40人	1,930人	435人	50人	1,675人	435人	50人	1,840人
人間学科	80人	10人	250人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
国際言語文化学科	200人	30人	630人	200人	30人	860人	200人	30人	860人
リベラルアーツ学科	155人		310人	155人	10人	475人	155人	10人	640人
教育学科	—		200人	—		—	—		—
英米文学科	—		150人	—		—	—		—
外国語学科	—		200人	—		—	—		—
芸術学科	—		190人	—		—	—		—
農学部	220人		880人	220人		880人	220人		880人
生物資源学科	130人		460人	130人		480人	130人		500人
応用生物化学科	90人		420人	90人		400人	90人		380人
工学部	320人		1,360人	320人		1,320人	320人		1,280人
機械システム学科	80人		80人	80人		160人	80人		240人
知能情報システム学科	90人		90人	90人		180人	90人		270人
メディアネットワーク学科	80人		80人	80人		160人	80人		240人
マネジメントサイエンス学科	70人		70人	70人		140人	70人		210人
機械工学科	—		260人	—		170人	—		80人
電子工学科	—		260人	—		170人	—		80人
情報通信工学科	—		260人	—		170人	—		80人
経営工学科	—		260人	—		170人	—		80人
経営学部	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
教育学部	250人		700人	250人		950人	250人		1,000人
教育学科	200人		600人	200人		800人	200人		800人
乳幼児発達学科	50人		100人	50人		150人	50人		200人
芸術学部	190人		570人	190人		760人	190人		760人
パフォーミング・アーツ学科	110人		330人	110人		440人	110人		440人
ビジュアル・アーツ学科	80人		240人	80人		320人	80人		320人
計	1,595人	70人	6,220人	1,595人	80人	6,365人	1,595人	80人	6,540人

附 則

- この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- (農学部の応用生物化学科の存続に関する経過措置)

農学部の応用生物化学科は、改正後の学則第4条の規定に係わらず平成17年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定に係わらず平成17年度から平成19年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	435人	50人	1,675人	435人	50人	1,840人	435人	50人	1,840人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
国際言語文化学科	200人	30人	860人	200人	30人	860人	200人	30人	860人
リベラルアーツ学科	155人	10人	475人	155人	10人	640人	155人	10人	640人
農学部	250人		910人	250人		940人	250人		970人
生物資源学科	90人		440人	90人		420人	90人		400人
応用生物化学科	—		310人	—		200人	—		90人
生物環境システム学科	60人		60人	60人		120人	60人		180人
生命化学科	100人		100人	100人		200人	100人		300人
工学部	320人		1,320人	320人		1,280人	320人		1,280人
機械システム学科	80人		160人	80人		240人	80人		320人
知能情報システム学科	90人		180人	90人		270人	90人		360人
メディアネットワーク学科	80人		160人	80人		240人	80人		320人
マネジメントサイエンス学科	70人		140人	70人		210人	70人		280人
機械工学科	—		170人	—		80人	—		—
電子工学科	—		170人	—		80人	—		—
情報通信工学科	—		170人	—		80人	—		—
経営工学科	—		170人	—		80人	—		—
経営学部	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
教育学部	250人		950人	250人		1,000人	250人		1,000人
教育学科	200人		800人	200人		800人	200人		800人
乳幼児発達学科	50人		150人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	190人		760人	190人		760人	190人		760人
パフォーマンス・アーツ学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
ビジュアル・アーツ学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
計	1,625人	80人	6,395人	1,625人	80人	6,600人	1,625人	80人	6,630人

附 則

- この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- (文学部国際言語文化学科の存続に関する経過措置)  
文学部国際言語文化学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成18年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
また、第8条の規定にかかわらず平成18年度から平成20年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成18年度			平成19年度			平成20年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	365人	50人	1,770人	365人	50人	1,700人	365人	30人	1,610人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人		130人	130人		260人	130人	10人	400人
リベラルアーツ学科	155人	10人	640人	155人	10人	640人	155人	10人	640人
国際言語文化学科	—	30人	660人	—	30人	460人	—		230人
農学部	250人		940人	250人		970人	250人		1,000人

生物資源学科	90人		420人	90人		400人	90人		360人
生物環境システム学科	60人		120人	60人		180人	60人		240人
生命化学科	100人		200人	100人		300人	100人		400人
応用生物化学科	—		200人	—		90人	—		—
工学部	320人		1,280人	320人		1,280人	320人		1,280人
機械システム学科	80人		240人	80人		320人	80人		320人
知能情報システム学科	90人		270人	90人		360人	90人		360人
メディアネットワーク学科	80人		240人	80人		320人	80人		320人
マネジメントサイエンス学科	70人		210人	70人		280人	70人		280人
機械工学科	—		80人	—		—	—		—
電子工学科	—		80人	—		—	—		—
情報通信工学科	—		80人	—		—	—		—
経営工学科	—		80人	—		—	—		—
経営学部	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
国際経営学科	180人	30人	780人	180人	30人	780人	180人	30人	780人
教育学部	250人		1,000人	250人		1,000人	250人		1,000人
教育学科	200人		800人	200人		800人	200人		800人
乳幼児発達学科	50人		200人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	260人		830人	260人		900人	260人		970人
パフォーミング・アーツ学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
メディア・アーツ学科	70人		70人	70人		140人	70人		210人
ビジュアル・アーツ学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
計	1,625人	80人	6,600人	1,625人	80人	6,630人	1,625人	60人	6,640人

附 則

- この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- (文学部リベラルアーツ学科の存続に関する経過措置)  
文学部リベラルアーツ学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成19年3月31日に当該学部・学科に在学する者が当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
また、第8条の規定にかかわらず平成19年度から平成21年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員
文学部	210人	40人	1,535人	210人	20人	1,280人	210人	20人	1,035人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人		260人	130人	10人	400人	130人	10人	540人
リベラルアーツ学科	—		475人	—		310人	—		155人
国際言語文化学科	—	30人	460人	—		230人	—		—
農学部	250人		970人	250人		1,000人	250人		1,000人
生物資源学科	90人		400人	90人		360人	90人		360人
生物環境システム学科	60人		180人	60人		240人	60人		240人
生命化学科	100人		300人	100人		400人	100人		400人
応用生物化学科	—		90人	—		—	—		—
工学部	320人		1,280人	320人		1,280人	320人		1,280人
機械システム学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
知能情報システム学科	90人		360人	90人		360人	90人		360人
メディアネットワーク学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
マネジメントサイエンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人



経営学部	195人		765人	195人		750人	195人		765人
国際経営学科	115人		685人	115人		590人	115人		525人
観光経営学科	80人		80人	80人		160人	80人		240人
教育学部	250人		1,000人	250人		1,000人	250人		1,000人
教育学科	200人		800人	200人		800人	200人		800人
乳幼児発達学科	50人		200人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	260人		900人	260人		970人	260人		1,040人
パフォーミング・アーツ学科	110人		440人	110人		440人	110人		440人
メディア・アーツ学科	70人		140人	70人		210人	70人		280人
ビジュアル・アーツ学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
リベラルアーツ学部	160人		160人	160人		320人	160人		480人
リベラルアーツ学科	160人		160人	160人		320人	160人		480人
計	1,645人	40人	6,610人	1,645人	20人	6,600人	1,645人	20人	6,600人

附 則

- この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- (工学部機械システム学科、知能情報システム学科ならびにメディアネットワーク学科の存続に関する経過措置)

工学部機械システム学科、知能情報システム学科ならびにメディアネットワーク学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成20年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定にかかわらず平成20年度から平成22年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	210人	20人	1,280人	210人	20人	1,035人	210人	20人	880人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人	10人	400人	130人	10人	540人	130人	10人	540人
リベラルアーツ学科	—	—	310人	—	—	155人	—	—	—
国際言語文化学科	—	—	230人	—	—	—	—	—	—
農学部	250人	—	1,000人	250人	—	1,000人	250人	—	1,000人
生物資源学科	90人	—	360人	90人	—	360人	90人	—	360人
生物環境システム学科	60人	—	240人	60人	—	240人	60人	—	240人
生命化学科	100人	—	400人	100人	—	400人	100人	—	400人
工学部	240人	—	1,200人	240人	—	1,120人	240人	—	1,040人
機械情報システム学科	100人	—	100人	100人	—	200人	100人	—	300人
ソフトウェアサイエンス学科	70人	—	70人	70人	—	140人	70人	—	210人
マネジメントサイエンス学科	70人	—	280人	70人	—	280人	70人	—	280人
機械システム学科	—	—	240人	—	—	160人	—	—	80人
知能情報システム学科	—	—	270人	—	—	180人	—	—	90人
メディアネットワーク学科	—	—	240人	—	—	160人	—	—	80人
経営学部	220人	—	775人	220人	—	815人	220人	—	855人
国際経営学科	130人	—	605人	130人	—	555人	130人	—	505人
観光経営学科	90人	—	170人	90人	—	260人	90人	—	350人
教育学部	290人	—	1,040人	290人	—	1,080人	290人	—	1,120人
教育学科	240人	—	840人	240人	—	880人	240人	—	920人
乳幼児発達学科	50人	—	200人	50人	—	200人	50人	—	200人
芸術学部	270人	—	980人	270人	—	1,060人	270人	—	1,070人

パフォーミング・アーツ学科	120人		450人	120人		460人	120人		470人
メディア・アーツ学科	70人		210人	70人		280人	70人		280人
ビジュアル・アーツ学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
リベラルアーツ学部	160人		320人	160人		480人	160人		640人
リベラルアーツ学科	160人		320人	160人		480人	160人		640人
計	1,640人	20人	6,595人	1,640人	20人	6,590人	1,640人	20人	6,605人

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

2 (経営学部観光経営学科の存続に関する経過措置)

経営学部観光経営学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成25年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、第8条の規定にかかわらず平成25年度から平成27年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員	入学 定員	編入学 定員 (3年次)	収容 定員
文学部	210人	20人	880人	210人	20人	880人	210人	20人	880人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人	10人	540人	130人	10人	540人	130人	10人	540人
農学部	250人		1,000人	250人		1,000人	250人		1,000人
生物資源学科	90人		360人	90人		360人	90人		360人
生物環境システム学科	60人		240人	60人		240人	60人		240人
生命化学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
工学部	240人		960人	240人		960人	240人		960人
機械情報システム学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
ソフトウェアサイエンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
マネジメントサイエンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
経営学部	130人		790人	130人		700人	130人		610人
国際経営学科	130人		520人	130人		520人	130人		520人
観光経営学科	—		270人	—		180人	—		90人
教育学部	290人		1,160人	290人		1,160人	290人		1,160人
教育学科	240人		960人	240人		960人	240人		960人
乳幼児発達学科	50人		200人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	270人		1,080人	270人		1,080人	270人		1,080人
パフォーミング・アーツ学科	120人		480人	120人		480人	120人		480人
メディア・アーツ学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
ビジュアル・アーツ学科	80人		320人	80人		320人	80人		320人
リベラルアーツ学部	160人		640人	160人		640人	160人		640人
リベラルアーツ学科	160人		640人	160人		640人	160人		640人
観光学部	90人		90人	90人		180人	90人		270人

観光学科	90人		90人	90人		180人	90人		270人
計	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人

附則

- この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- (芸術学部メディア・アーツ学科及びビジュアル・アーツ学科の存続に関する経過措置)  
 芸術学部メディア・アーツ学科及びビジュアル・アーツ学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成26年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
 また、第8条の規定にかかわらず平成26年度から平成28年度までの間の定員は次のとおりとする。

学部・学科	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	210人	20人	880人	210人	20人	880人	210人	20人	880人
人間学科	80人	10人	340人	80人	10人	340人	80人	10人	340人
比較文化学科	130人	10人	540人	130人	10人	540人	130人	10人	540人
農学部	250人		1,000人	250人		1,000人	250人		1,000人
生物資源学科	90人		360人	90人		360人	90人		360人
生物環境システム学科	60人		240人	60人		240人	60人		240人
生命化学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
工学部	240人		960人	240人		960人	240人		960人
機械情報システム学科	100人		400人	100人		400人	100人		400人
ソフトウェアサイエンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
マネジメントサイエンス学科	70人		280人	70人		280人	70人		280人
経営学部	130人		700人	130人		610人	130人		520人
国際経営学科	130人		520人	130人		520人	130人		520人
観光経営学科	—		180人	—		90人	—		—
教育学部	290人		1,160人	290人		1,160人	290人		1,160人
教育学科	240人		960人	240人		960人	240人		960人
乳幼児発達学科	50人		200人	50人		200人	50人		200人
芸術学部	270人		1,080人	270人		1,080人	270人		1,080人
パフォーマンス・アーツ学科	130人		490人	130人		500人	130人		510人
メディア・アーツ学科	—		210人	—		140人	—		70人
ビジュアル・アーツ学科	—		240人	—		160人	—		80人
メディア・デザイン学科	90人		90人	90人		180人	90人		270人
芸術教育学科	50人		50人	50人		100人	50人		150人
音楽コース	30人		30人	30人		60人	30人		90人
美術・工芸コース	20人		20人	20人		40人	20人		60人
リベラルアーツ学部	160人		640人	160人		640人	160人		640人
リベラルアーツ学科	160人		640人	160人		640人	160人		640人
観光学部	90人		180人	90人		270人	90人		360人
観光学科	90人		180人	90人		270人	90人		360人
計	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人	1,640人	20人	6,600人

附則

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- (文学部比較文化学科の存続に関する経過措置)  
 文学部比較文化学科は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず平成27年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
 また、第8条の規定にかかわらず平成27年度から平成29年度までの間の定員は次のとおりとする。

る。

学部・学科	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員	入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員
文学部	160人	—	810人	160人	—	740人	160人	—	690人
人間学科	80人	—	330人	80人	—	320人	80人	—	320人
比較文化学科	—	—	400人	—	—	260人	—	—	130人
英語教育学科	80人	—	80人	80人	—	160人	80人	—	240人
農学部	285人	—	1,035人	285人	—	1,070人	285人	—	1,105人
生物資源学科	105人	—	375人	105人	—	390人	105人	—	405人
生物環境システム学科	70人	—	250人	70人	—	260人	70人	—	270人
生命化学科	110人	—	410人	110人	—	420人	110人	—	430人
工学部	240人	—	960人	240人	—	960人	240人	—	960人
機械情報システム学科	60人	—	360人	60人	—	320人	60人	—	280人
ソフトウェアサイエンス学科	60人	—	270人	60人	—	260人	60人	—	250人
マネジメントサイエンス学科	60人	—	270人	60人	—	260人	60人	—	250人
エンジニアリングデザイン学科	60人	—	60人	60人	—	120人	60人	—	180人
経営学部	130人	—	610人	130人	—	520人	130人	—	520人
国際経営学科	130人	—	520人	130人	—	520人	130人	—	520人
観光経営学科	—	—	90人	—	—	—	—	—	—
教育学部	315人	—	1,185人	315人	—	1,210人	315人	—	1,235人
教育学科	240人	—	960人	240人	—	960人	240人	—	960人
乳幼児発達学科	75人	—	225人	75人	—	250人	75人	—	275人
芸術学部	270人	—	1,080人	270人	—	1,080人	270人	—	1,080人
パフォーマンス・アーツ学科	130人	—	500人	130人	—	510人	130人	—	520人
メディア・アーツ学科	—	—	140人	—	—	70人	—	—	—
ビジュアル・アーツ学科	—	—	160人	—	—	80人	—	—	—
メディア・デザイン学科	90人	—	180人	90人	—	270人	90人	—	360人
芸術教育学科	50人	—	100人	50人	—	150人	50人	—	200人
音楽コース	30人	—	60人	30人	—	90人	30人	—	120人
美術・工芸コース	20人	—	40人	20人	—	60人	20人	—	80人
リベラルアーツ学部	160人	—	640人	160人	—	640人	160人	—	640人
リベラルアーツ学科	160人	—	640人	160人	—	640人	160人	—	640人
観光学部	90人	—	270人	90人	—	360人	90人	—	360人
観光学科	90人	—	270人	90人	—	360人	90人	—	360人
計	1,650人	—	6,590人	1,650人	—	6,580人	1,650人	—	6,590人

附則

- この学則は、平成28年4月1日から施行する。

## 別表第1

### 人材養成等教育研究に係る目的

#### 文学部

文学部は、学部創設以来、全人教育の理念のもと、地球市民として社会に貢献できる広い視野と柔軟な対応力を備えた人材養成を目指している。そのため、豊かな表現力、論理的思考力、コミュニケーション能力という社会人としての基礎力を育成するための学科構成及びカリキュラム編成を行っている。

人間学科では、「思想」、「心理」、「社会」、「倫理」、「教育」という5分野横断型のカリキュラムを通して、人間についての幅広い視野と深い洞察力を育成し、多様な価値観に対応できる能力を持ち、グローバル社会に貢献することができる人材を養成する。教職課程においては、人間への多面的理解を基盤に、論理的思考力と豊かな表現力を持ち、5分野における包括的知識を活用し、教育現場に貢献できる社会科・公民科教員を養成する。

英語教育学科は、「英語教員養成コース」と「ELFコミュニケーションコース」の2領域で構成され、グローバル化に伴う言語や文化の多様化に対応できる資質・能力を育成することを目指し、国際コミュニケーションのための英語運用能力を身につけることを共通目標としている。「英語教員養成コース」では、英語教員に求められる豊かな言語観・文化観と指導力を、「ELFコミュニケーションコース」では、国際共通語としての英語コミュニケーション能力を育成し、積極的に国際社会に貢献することのできる人材を養成する。

#### 農学部

農学部は、より広い視野で農学を捉え、「資源・環境・生命」の3点を柱として生物資源学科、生物環境システム学科、生命化学科の3学科を設置する。教育・研究は、全人教育の伝統を活かし、実物教育、総合的・学際的視点、国際性、倫理観の4つの視点を重視する。これらを通じ、科学の基本である「なぜ？」という鋭い視点をもつ人材、問題を発見・解決する意欲と実行力のある人材の養成を目的とする。このために、基盤から基幹へ、さらに専攻へと発展させる体系的な教育プログラムを設けている。また、教員養成を目指す学科横断的コースを設けている。

生物資源学科は、人類と環境の共存のために科学技術を正しく使える人材の養成を目指し、あらゆる生物を「資源」として捉え、有用形質・機能の利用に関する理論と技術を習得する。これらの生物機能を理解し、生物生産の効率化、未利用資源や生物の新機能の利用に関わる教育・研究を展開する。

生物環境システム学科は、持続的循環型社会の形成に貢献することを目指し、環境保全、生物の尊さを理解した人材、創造性・主体性・国際性を兼ね備えた人間性豊かな人材の養成を行う。最大の特色は、海外及び国内の教育機関及び本学の各施設を利用した独自カリキュラムにあり、生物と地球環境とのつながりを理解する。

生命化学科は、生命を「化学」の視点で捉えることを学科の基盤に据え、食糧生産、有用天然物質利用、健康、環境の分野で世界に貢献できる人材養成を目指す。そのために必要な科学的知識と科学的技術、及び、それらを社会の中で正しく使用するための教育・研究を推進する。

#### 工学部

工学部では全人教育の下、人間力を備えたモノづくりの実践的技術者を育成することをミッションとしている。教育研究に取り組む学部の基本的なスタンスとして、「技術者は、技術の進歩を追求する技術者である前に、人間であることを希求すること」「失敗を恐れず人生の開拓者として絶えず夢に挑戦する技術者であること」「現状の正しい認識の上に、常に将来を見据えた前向きな姿勢で迅速な改革に取り組むこと」を前提に実技教育、労作教育を展開する。また自然尊重、地球環境に留意し環境教育を実践する。その結果、社会人として十分な品格を持った人間性豊かで、コミュニケーション力、問題発見・解決能力を備え、環境にも配慮した新たな価値を創造できる技術者の育成に努める。

機械情報システム学科は、ますます複合化・統合化している近年の工業技術の発展の中で、電子情報に関する幅広い素養を持つ技術者の養成を目指している。また、コミュニケーション能力やITスキルのような一般的素養はもとより、資源・エネルギー・環境問題に関する素養を十分身につけることができるよう教育を行っていく。すなわち本学科では、数学・物理・コン

コンピュータ等の基礎教育を徹底的に行うとともに、3つの専門領域「電子情報」「ロボティクス」「環境エネルギー」を柱に、学生自身の関心や大学卒業後のキャリアデザインに基づいて、専門分野を体系的に学ばせる。また、各領域で与えられた課題に対して学生が計画立案から結果発表まで自主的に取り組み問題を解決していく問題解決型学修（PBL）を設置している。本学科は、工学分野の幅広い基幹技術の基礎を修得した上で、豊かなアイデアを創出し、それを具現化する能力を持つ人材の育成を目標とする。

ソフトウェアサイエンス学科では、現代社会のインフラストラクチャーとして、生活に不可欠なコンピュータやネットワークを支えるソフトウェア技術を習得した高度情報社会を支える技術者を育成する。社会のインフラストラクチャーである銀行や証券、物流、交通システム、通信、製造現場の自動化など、いずれもソフトウェア技術が、その業態の在り方そのものを根底から変革する原動力になっている。身近な携帯電話、ゲーム機、デジカメ、ビデオ、家電製品、自動車なども、ソフトウェア技術によって大変革をとげている。また、これらの技術は、人々の生活とより深くかかわるようになったため、文化や生活習慣、国際化などにも大きな影響を与えるようになってきた。従って、これらが人間に与える影響を科学的理解に立って考察し、真に役立つ健全な技術として育てていくことが強く求められている。本ソフトウェアサイエンス学科の教育目標は、ソフトウェア技術及びこれによって実現している身近な携帯電話、ゲーム機、デジカメ、ビデオ、家電製品、自動車などのさまざまな技術を、総合的に修得し、健全な技術として発展させられる見識を持った全人的技術者を育成することにある。またソフトウェアサイエンス学科は数学教員養成プログラムを持つ。1年次から数学を専門として学び、数学の深い知識と幅広い教授法を身につけた数学教員を養成する。

マネジメントサイエンス学科では、教育目標として科学的なアプローチを中心に激変する企業経営に対応できる人材育成を目指している。さらに実践的な経営者・技術者として必要な倫理観を備えた人材の育成、問題発見能力、問題解決能力、評価能力を備える人材の育成を目指している。また社会が求める新たな価値創造のできる実践的な経営者・管理者・技術者の知識が獲得できるように教育プロセスの改善を教員が推進する。これらの目標のために、将来のビジョンをもち、それを具現化できる能力、企業のマネジメントに参画できる能力、プレゼンテーション能力、仕事に必要な学習を自主的に行い遂行する能力、自分の考えを正確に伝えるコミュニケーション能力（論理的な記述力・討議力など）がつくように学ぶとともに、社会人としての品格（知識・教養・感性・判断力等）、自然尊重・地球環境に留意した環境配慮活動が実践できる人材の育成を目指している。したがって、本学科では、上記の教育理念に基づき、工学専門科目だけでなく他分野の専門科目の学習を推奨する教育システムを構築し、卒業要件に本学科の意図とする人材育成の目的を効果的に達成できるように配慮している。またマネジメントサイエンス学科は数学教員養成プログラムを持つ。1年次から数学を専門として学び、数学の深い知識と幅広い教授法を身につけた数学教員を養成する。

エンジニアリングデザイン学科は、ものづくりに欠かせない従来技術分野の修得はもちろんのこと、グローバルに展開する産業界のニーズに適合しうる人材養成を目的とする学科で、「機械工学」分野を中心として図面の読める経営者や経営に参画できる技術者の養成を目的とする。具体的には、ものづくりに不可欠な設計・製図・実験などの修得だけではなく、デジタル生産技術・工業デザインなどを取り込むことにより、技術者、経営者として地球的にも活躍できる人材を輩出する。教育課程として「ファブラボ」「商品開発・デザイン」「バイオミメティクス・メカロボット」といった領域を用意し、各領域に共通の「見える工学・触れる工学」を実践したうえで、これを踏み台にした専門分野を体系的に学ばせる。すなわち、20世紀までの大量生産型ものづくり技術に加えて、ラピッドプロトタイピングのためのデジタルファブリケーション技術を取り入れ、工房や国内外での実習での体験を通して企画力・マネジメント能力を培い、積極的に技術発信できる、21世紀型ものづくりに不可欠な人材を養成する。

#### 経営学部

経済・社会のグローバル化により、すでに海外進出をしている企業だけでなく国内市場を相手にしてきた企業も基本的な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動することを前提にした経営を考える必要がある。世界の各地域には企業経営やビジネス慣行における独自性が残っているが、グローバル化の進展でそれらの標準化が急速に進んでおり、その動

きを背景にして世界の経営学教育も日々進歩し標準化が進展している。またグローバル化の波はトランスナショナル企業を出現させ、国内においては生産の海外移転を加速させている。競争に耐えられない企業が整理される一方で、新たな成長の牽引役となる企業がイノベーションを生み出していくことが喫緊の課題となっている。

経営学部では国際経営学科に3つのコースを設けて専門性を高めると同時に世界標準で主要科目の学修を進めることで、グローバル化に主体的に取り組む実践力と情報発信できる英語コミュニケーション力を修得し、ビジネスを通して社会の要請に応え世界に貢献できる人材の養成を目指す。

#### 教育学部

教育学部では、全人教育の理念のもとに、教育・保育現場で活躍できる質の高い教員・保育者を養成するとともに、現代社会において教育関連分野に貢献できる人材養成を目的とし、教育・保育現場で求められる実践的指導力、社会の変化やニーズに対応できる総合的な課題解決能力、平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる社会力、そして専攻する分野における幅広く深い専門力を備えた、人間性豊かな教員・保育者や社会人を育成することを目指している。そのために必要とされる、基礎的・専門的学力とともに、人間や社会への理解や愛情、規範意識（モラル）、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ等の諸能力の獲得を図っている。

教育学科は、子どもを深く理解し、主として学校教育に関する専門的知識や技能並びに教職における実践的な指導力を併せ持った教員養成とともに教育関連分野に貢献できる人材養成を目指す。

乳幼児発達学科は、子どもを深く理解し、幼児教育・保育に関する専門的知識や技能とともに実践的な指導力を併せ持った、乳幼児が通う保育所、幼稚園、認定こども園、児童福祉施設等において活躍できる保育者養成とともに、社会的なニーズに応えられる子育て支援に関わる人材養成を目指す。

#### 芸術学部

芸術学部は、本学創立の理念である全人教育のもと、全人的な陶冶を基本理念として、総合大学における芸術学部の特徴を活かした芸術教育を目指している。芸術創造、芸術応用、芸術企画・経営、芸術研究の各領域を学びの指針として、学部段階教育を踏まえた芸術教養を基に体系的な専門知識と技能、及び実践力の修得を図る。また理論的・実践的側面を統合的に学習することを通して、多様な芸術表現の可能性と芸術活動の支援的側面を探究し、我が国の文化芸術の特徴を活かした芸術による社会貢献を推進し得る人材の育成、及び玉川大学の教員養成の実績を背景に、創造性豊かな実践的指導力を備えた、中・高教員（音楽・美術・工芸）の養成を目的とする。

パフォーマンス・アーツ学科は、パフォーマンス・アーツの体系的理解に基づき現代社会における上演芸術や身体表現の役割を学修し、コミュニケーション能力と総合的実践力の育成を通して社会に貢献できる人材を育成する。

メディア・デザイン学科は、メディアアートとデザインの分野における幅広い知識とデジタル技術の修得を活かし、知識基盤社会、高度情報通信ネットワーク社会における日本の文化産業の発展に貢献できる職業人を養成する。

芸術教育学科は、芸術と教育に関する基礎的な知識と技能を体系的に修得し、人間理解を基礎に「芸術による教育」を学校教育や社会教育等の現場において、指導的な立場から先導的に推進できる人材を養成する。

#### リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学部における教育課程編成の基本方針は、「幅広く深い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する」ための教育を推進し、将来のキャリア形成を意識しながら、「学際的教養教育」かつ「知の基盤」の充実を図ることにあります。さらに、価値観の多様化・複雑化した現代社会では、時代の変化に柔軟に対応しつつ、調和の取れたコミュニケーション能力のある人材が求められており、その実現に向けて、実験・実習・調査・フィールドワークなどの体験型学習を積極的に取り入れ、地域や企業との連携を図り、社会的経験を積みながら「コミュニティの知的リーダー」となる人材の養成を目指しています。具体的には、

次のような学生像を掲げています。

- (1) 広い視野、判断力、考え抜く問題解決能力があり、積極的かつ協力して社会に関わっていけるコミュニティのリーダーになれる人。
- (2) 基礎基本を土台に専門性を身につけ、様々なプロジェクトを実践・推進できる人。
- (3) 英語力・日本語力・デジタルコミュニケーション力があり、わが国の文化を様々なかたちで世界に発信できる人。
- (4) 生涯教育を可能にする「ラーニング・コミュニティ」を意識し、生涯にわたり学び続ける気持ちを持ち、社会にその知識を還元・推進できる人。

そこで4年間を3期、導入期・発展期・専攻期と位置づけ、それぞれの目標である構想力・実践力・推進力の育成をカリキュラムにおいて実現させます。導入期では日本語・英語のコミュニケーション力・情報処理スキル、プレゼンテーションスキルなどの育成に力点を置き、発展期では専門的研究の入門・演習科目を多様に開講し、実験・実習など様々な学びのスタイルを通して自らの課題に取り組んでいきます。専攻期ではプロジェクトセミナーで研究方法を培い、問題の発見、課題の解決、思考力を専攻科目の履修を通して養い、その成果を地域に資すために発表、提供できる教育課程の編成としています。

#### 観光学部

観光学部ではグローバル時代における観光の振興に広く貢献できる人材の養成を目指す。具体的には、現代における観光の意義と役割とその課題を的確に把握し、適切な情報の収集と分析を通して、また、異文化に対する理解を基礎に、高度な英語力を駆使してグローバル時代の観光産業と地域活性化に貢献できる人材を養成する。

そのために、グローバル時代における観光産業のあり方について、その基礎基本となる知識を体系的に学習し、そこで修得した知見を基に、幅広い観点から観光という現象の意義や役割を理解し、さらに現状の課題を社会科学的な方法論に基づいて認識しその解決策を提示できる能力を育成する。

また、グローバル時代の観光産業にあっては、インバウンド観光・アウトバウンド観光ともに、国際共通語としての英語力は必須であるとの前提にたち、その高度な運用力の修得を図るとともに、それをを用いた異文化理解の深化と異文化との交流力を培うことを目指した教育・研究を行うことを目的とする。

教育課程は、「観光全般に関する知識」を体系的に修得させることと、「英語運用力」の向上を図ることを主軸として編成されている。この教育課程を通して、「人間関係構築力」「情報収集・分析・表現力」「異文化理解・対応力」「社会的責任と倫理観」「問題発見・解決力」など「グローバル時代における観光の振興に貢献できる人材」が備えるべき基礎的な資質・能力を身につけさせる。

#### 通信教育部

通信教育部は、教育学部教育学科の通信教育課程として、全人教育の理念のもとに、人間教育についての深い学識を持った人間の育成を行う中で、学校教育現場で活躍できる質の高い教員を養成するとともに、社会教育の専門家（図書館司書、学芸員、社会教育主事など）の養成を通じて教育関連分野に貢献できる人材養成を目指す。さらに、現代社会に必要な幅広い教養を得るための生涯学習の場も提供する。以上の目的を果たすために、学校現場等で求められる実践的指導力、社会の変化やニーズに対応できる総合的な課題解決能力、平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる社会力、そして専攻する分野における幅広く深い専門力を備えた、人間性豊かな教員や社会人を育成することを目指している。そのために必要とされる基礎的・専門的学力とともに、人間や社会への理解や愛情、規範意識（モラル）、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ等の諸能力の獲得を図っている。



別表第2-①

ユニバーシティ・スタンダード科目

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
玉川教育・FYE科目群	一年次セミナー 101	2	必修	
	一年次セミナー 102	2	必修	
	玉川の教育	0.3	必修	
	健康教育	1	必修	
	音楽 I	0.7	必修	
	音楽 II	1	必修	
	全人教育論	2	選択	
	二年次セミナー 201	2	選択	
	二年次セミナー 202	2	選択	
	三年次セミナー 301	2	選択	
三年次セミナー 302	2	選択		
ピアリーダー	2	選択		
人文科学科目群	文化人類学	2	選択	
	美術史	2	選択	
	美術理論	2	選択	
	ことばと文化	2	選択	
	比較文化論	2	選択	
	日本文学	2	選択	
	外国文学	2	選択	
	歴史 (世界)	2	選択	
	歴史 (日本)	2	選択	
	音楽史	2	選択	
	音楽理論	2	選択	
	哲学	2	選択	
	倫理学	2	選択	
	ロジック	2	選択	
	科学史	2	選択	
	宗教学	2	選択	
	人間関係論	2	選択	
	演劇史	2	選択	
	演劇理論	2	選択	
	キリスト教学	2	選択	
英語学	2	選択		
日本語学	2	選択		
人文科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1	選択		
人文科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1	選択		
名著講読 (人文科学)	1	選択		
社会科学科目群	会計学	2	選択	
	コミュニケーション論	2	選択	
	経済学 (国際経済を含む)	2	選択	
	国際関係論	2	選択	
	情報管理論	2	選択	
	法学	2	選択	
	経営学	2	選択	
	マーケティング	2	選択	
	政治学	2	選択	
	心理学	2	選択	
	社会学	2	選択	
	ボランティア概論	2	選択	
	科学技術社会論	2	選択	
	観光学入門	2	選択	
	社会科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1	選択	
	社会科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1	選択	
	名著講読 (社会科学)	1	選択	

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
自然科学科目群	情報科学入門	2	選択	
	ネットワーク入門	2	選択	
	データ処理	2	選択	
	マルチメディア表現	2	選択	
	化学入門	2	選択	
	生物学入門	2	選択	
	環境科学	2	選択	
	数学入門	2	選択	
	解析学入門	2	選択	
	代数学入門	2	選択	
	統計学入門	2	選択	
	物理学入門	2	選択	
	物理学実践	2	選択	
	科学入門	2	選択	
	地球科学	2	選択	
	エネルギー科学	2	選択	
	宇宙科学	2	選択	
	自然科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1	選択	
自然科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1	選択		
名著講読 (自然科学)	1	選択		
学際科目群	ミクロ脳科学	2	選択	
	マクロ脳科学	2	選択	
	健康スポーツ理論	2	選択	
	生涯スポーツ演習	2	選択	
	環境教育	2	選択	
	スポーツ史	2	選択	
	オリンピック文化論	2	選択	
	栄養学	2	選択	
	病理学	2	選択	
	マスメディアと社会	2	選択	
	現代文化論	2	選択	
	複合領域研究 201~299	各2	選択	
	野外教育	2	選択	
	環境教育ワークショップ I	2	選択	
	環境教育ワークショップ II	2	選択	
	コーオプ・プログラム	2	選択	
	キャリア・マネジメント	2	選択	
	国際研究 A	2	選択	
国際研究 B	2	選択		
国際研究 C	2	選択		
国際研究 D	3	選択		
国際研究 E	4	選択		
国際研究 F	5	選択		
フィールドワーク A	2	選択		
フィールドワーク B	2	選択		
フィールドワーク C	2	選択		

別表第2-①

ユニバーシティ・スタンダード科目

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
言語表現科目群	ELF 101	4	選択	
	ELF 102	4	選択	
	ELF 201	4	選択	
	ELF 202	4	選択	
	ELF 301	4	選択	
	ELF 302	4	選択	
	ELF 401	4	選択	
	ELF 402	4	選択	
	日本語表現 101	2	選択	
	日本語表現 102	2	選択	
	フランス語 101	2	選択	
	フランス語 102	2	選択	
	ドイツ語 101	2	選択	
	ドイツ語 102	2	選択	
	スペイン語 101	2	選択	
	スペイン語 102	2	選択	
	中国語 101	2	選択	
	中国語 102	2	選択	
	教職関連科目群	日本国憲法	2	選択
体育		1	選択	
教職概論		2	選択	
教育原理		2	選択	
学習・発達論		2	選択	
教育の制度と経営		2	選択	
教育課程編成論 (中・高)		2	選択	
道德教育の理論と方法 (中)		2	選択	
特別活動の理論と方法 (中・高)		2	選択	
教育の方法と技術 (中・高)		2	選択	
生徒・進路指導の理論と方法 (中・高)		2	選択	
教育相談の理論と方法 (中・高)		2	選択	
教職実践演習 (中・高)		2	選択	
教育哲学		2	選択	
教育史概論		2	選択	
発達心理学		2	選択	
特別支援教育		2	選択	
教育心理学		2	選択	
教育社会学		2	選択	
教育行政学		2	選択	
教育方法学 (中・高)		2	選択	
教育実習 (中学校)		5	選択	
教育実習 (高等学校)		3	選択	
コンピュータと学習支援 (中・高)		2	選択	
教職演習 A		1	選択	
教職演習 B		1	選択	
精神保健		2	選択	
生命と性の教育		2	選択	
異文化理解と教育		2	選択	

	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
資格関連科目群	学校経営と学校図書館	2	選択	
	学校図書館メディアの構成	2	選択	
	学習指導と学校図書館	2	選択	
	読書と豊かな人間性	2	選択	
	情報メディアの活用	2	選択	
	生涯学習概論	2	選択	
	図書館概論	2	選択	
	図書館情報技術論	2	選択	
	図書館制度・経営論	2	選択	
	図書館サービス概論	2	選択	
	情報サービス論	2	選択	
	児童サービス論	2	選択	
	情報サービス演習 A	1	選択	
	情報サービス演習 B	1	選択	
	図書館情報資源概論	2	選択	
	情報資源組織論	2	選択	
	情報資源組織演習 A	1	選択	
	情報資源組織演習 B	1	選択	
	図書館情報資源特論	1	選択	
	図書・図書館史	1	選択	
	図書館施設論	1	選択	
	社会教育の基礎	2	選択	
	社会教育計画	2	選択	
	社会教育方法論	2	選択	
	社会教育実習	2	選択	
	社会教育課題研究	2	選択	
	現代社会と社会教育	2	選択	
社会体育論	2	選択		
博物館概論	2	選択		
博物館経営論	2	選択		
博物館資料論	2	選択		
博物館資料保存論	2	選択		
博物館展示論	2	選択		
博物館教育論	2	選択		
博物館情報・メディア論	2	選択		
博物館実習	3	選択		

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

人間学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
人間と思想□	2	必修	
人間と倫理□	2	必修	
人間と心理□	2	必修	
人間と教育□	2	必修	
人間と社会□	2	必修	
日本史□	2	選択	
外国史 A	2	選択	
外国史 B	2	選択	
国際関係論□	2	選択	
地理学 (地誌を含む)	2	選択	
学術情報リテラシー	2	選択	
名著講読	2	必修	
プロゼミナール	2	必修	
哲学概論□	2	選択	
倫理学概論□	2	選択	
教育の思想と文化	2	選択	
宗教哲学□	2	選択	
西洋哲学思想史□	2	選択	
生命倫理学□	2	選択	
セクシュアリティの教育	2	選択	
法律学 (国際法を含む)	2	選択	
政治学 (国際政治を含む)	2	選択	
人格心理学□	2	選択	
社会心理学□	2	選択	
生涯発達心理学	2	選択	
心理学研究法 A□	2	選択	
人間関係論□	2	選択	
学習の理論と応用	2	選択	
人間学総合セミナー	2	選択	
現代文明論□	2	選択	
マスメディア論□	2	選択	
人間学特殊研究□	2	選択	
東洋思想史□	2	選択	
社会科指導法 I (中学)	2	選択	
社会科指導法 II (中学)	2	選択	
社会公民科指導法 I	2	選択	
社会公民科指導法 II□	2	選択	
インターンシップ A	2	選択□	
インターンシップ B□	2	選択□	
インターンシップ C	1	選択□	
インターンシップ D□	1	選択□	
教育インターンシップ A	2	選択□	
教育インターンシップ B	2	選択□	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
人間学演習 A	2	必修	
人間学演習 B	2	必修	
現代思想	2	選択	
宗教的人間学	2	選択	
教育的人間学	2	選択	
現代社会と倫理	2	選択	
ジェンダー論	2	選択	
健康科学論	2	選択	
臨床心理学	2	選択	
死生論□	2	選択	
心理学研究法 B	2	選択	
学際的人間研究 A	2	選択	
学際的人間研究 B	2	選択	
人間学演習 C	2	選択	
人間学演習 D	2	選択	
卒業研究 (論文)	4	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 英語教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		英語教員	ELF	
Vocabulary Building A	1	必修	必修	
English for Academic Purposes A	4	必修	必修	
Overseas Study A	2	選択	選択	
Overseas Study B	2	選択	選択	
Overseas Study C	2	選択	選択	
English for Academic Purposes B	4	必修	必修	
日本語表現演習	2	選択	選択	
Pre-departure Seminar	1	必修	必修	
English Grammar	2	必修	必修	
World Studies	3	必修	必修	
Conflict Resolution	2	選択	選択	
Vocabulary Building B	1	選択	選択	
Internship A	2	選択	選択	
Internship B	2	選択	選択	
Internship C	2	選択	選択	
School Internship A	2	選択	選択	
School Internship B	2	選択	選択	
School Internship C	2	選択	選択	
English for Intercultural Communication A	4	選択	選択	
Intercultural Communication A	4	選択	選択	
English for Intercultural Communication B	4	選択	選択	
Intercultural Communication B	4	選択	選択	
English for Academic Purposes (Advanced)	4	選択	選択	
Studies in ELT	4	選択	選択	
Studies in ELF Communication	4	選択	選択	
English in Global Contexts	2	必修	必修	
Multiculturalism in English-speaking Areas	2	必修	必修	
英語科指導法 I	4	選択	選択	
Global Communication	4	選択	選択	
Speech Workshop	2	選択	選択	
Regional Studies	2	選択	選択	
ELF Communication Seminar A	2	選択	必修	
ELT Seminar A	2	必修	選択	
British and American Literature	2	必修	必修	

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		英語教員	ELF	
英語科指導法 II	2	選択	選択	
Writing Workshop	2	選択	選択	
Issues in International Mobility A	4	選択	選択	
Project Management Workshop	4	選択	選択	
ELF Communication Seminar B	2	選択	選択	
Issues in Second Language Acquisition	2	選択	選択	
Issues in Applied Linguistics	2	選択	選択	
English for Standardized Examinations	1	選択	選択	
ELT Seminar B	2	選択	選択	
英語科指導法 III	2	選択	選択	
Teaching English at Elementary Schools	2	選択	選択	
Discussion Workshop	2	選択	選択	
Issues in International Mobility B	4	選択	選択	
Issues in Language and Society	4	選択	選択	
Issues in English-speaking Cultures	2	選択	選択	
ELF Communication Seminar C	2	選択	必修	
Issues in English Linguistics	2	選択	選択	
ELT Seminar C	2	必修	選択	
Senior Project	2	必修	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

生物資源学科科目

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		学科	教職コース	
基礎生物学実験	2	必修	必修	
生物資源学	4	必修	必修	
農学セミナー	1	必修	必修	
遺伝学	2	必修	必修	
生物学	2	必修	必修	
有機化学概論	2	必修	必修	
基礎化学実験	2	必修	必修	
フィールド管理実習 I	2	必修	必修	
物理学	2	選択	選択	
生化学	2	必修	必修	
昆虫資源学	2	必修	選択	
植物生理学	2	必修	選択	
フィールド管理実習 II	2	必修	選択	
植物形態学	2	選択	選択	
作物学	2	必修	選択	
作物生産管理学	2	必修	選択	
動物生理学	2	必修	必修	
生物資源学実験	2	必修	選択	
園芸学	2	必修	選択	
分子生物学	2	必修	必修	
応用昆虫学	2	選択	選択	
養蜂学	2	選択	選択	
生物統計学	2	選択	選択	
生命倫理学	2	選択	選択	
コミュニケーションスキル	2	選択	選択	
理科指導法 I	2	—	選択	
理科指導法 II	2	—	選択	
物理学実験	1	—	選択	
農業科指導法 I	2	—	選択	
農業科指導法 II	2	—	選択	
職業指導 I	2	—	選択	
職業指導 II	2	—	選択	

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		学科	教職コース	
植物育種学	2	必修	選択	
植物病理学	2	必修	選択	
領域実験実習 I	2	必修	—	
動物行動学	2	選択	選択	
植物組織培養論	2	選択	選択	
ゲノム科学	2	選択	選択	
生態学	2	選択	選択	
文献研究	2	必修	—	
領域実験実習 II	2	必修	—	
植物機能研究	2	選択	選択	
遺伝子工学	2	選択	選択	
応用動物学	2	選択	選択	
分子系統進化学	2	選択	選択	
インターンシップ	2	選択	選択	
理科指導法 III	2	—	選択	
理科指導法 IV	2	—	選択	
地学	2	—	選択	
地学実験	1	—	選択	
理科実験スキル (化学)	2	—	必修	
フィールド管理実習 III	2	選択	選択	
植物病害虫論	2	選択	選択	
ゼミ I	2	必修	—	
総合実験実習	4	必修	—	
卒業研究 I	2	必修	—	
卒業研究 II	6	必修	—	
ゼミ II	2	必修	—	
理科実験スキル (生物)	2	—	必修	
教材研究	1	—	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## 生物環境システム学科科目

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		学科	教職コース	
生物学	2	必修	必修	
環境生物科学	2	必修	必修	
化学基礎	2	必修	必修	
生物学実験	2	必修	必修	
生物環境実習 I	1	必修	必修	
生物環境利用学	2	必修	必修	
生物環境システム学概論	2	必修	必修	
生態学概論	2	必修	必修	
基礎化学実験	2	必修	必修	
生物環境実習 II	1	必修	必修	
実験実習情報スキル	1	必修	必修	
物理学	2	選択	選択	
植物分類学	2	選択	選択	
地域環境研究	2	選択	選択	
植物生理生態・分類学	2	選択	選択	
植物繁殖学	2	選択	選択	
地域環境論	2	選択	選択	
科学英語表現 I	2	選択	選択	
科学英語表現 II	2	選択	選択	
English Communication	2	選択	選択	
生物環境実験 I	2	必修	必修	
農業と動物	2	選択	選択	
地球環境と生態系	2	必修	選択	
保全生物学	2	選択	選択	
土壤生態学	2	選択	選択	
生物環境物理学	2	選択	選択	
コミュニケーションスキル	2	選択	選択	
動物行動生態学	2	選択	選択	
環境フードシステム学	2	選択	選択	
動物環境管理学	2	選択	選択	
環境倫理学	2	選択	選択	
環境経済学	2	選択	選択	
エコロジーデザイン論	2	選択	選択	
生物統計学	2	必修	選択	
国際協力論	2	必修	選択	
理科指導法 I	2	—	選択	
理科指導法 II	2	—	選択	
物理学実験	1	—	選択	

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		学科	教職コース	
農業科指導法 I	2	—	選択	
農業科指導法 II	2	—	選択	
職業指導 I	2	—	選択	
職業指導 II	2	—	選択	
生物環境実習 III	1	必修	必修	
生物環境演習 IA	2	必修	—	
生物環境実験 II	1	必修	選択	
緑地環境学	2	選択	選択	
環境と法令	2	選択	選択	
環境マネジメント論	2	必修	選択	
食品産業経済論	2	選択	選択	
持続的農業システム学	2	必修	選択	
領域実習 A	1	必修	—	
領域実習 B	1	必修	—	
生物環境演習 IB	2	必修	—	
農業マーケティング論	2	選択	選択	
野外安全教育	2	選択	選択	
インターンシップ I	2	選択	選択	
理科指導法 III	2	—	選択	
理科指導法 IV	2	—	選択	
地学	2	—	選択	
地学実験	1	—	選択	
理科実験スキル (化学)	2	—	必修	
卒業研究 I	4	必修	—	
卒業研究 II	6	必修	—	
生物環境演習 IIA	2	必修	—	
生物環境演習 IIB	2	必修	—	
インターンシップ II	2	選択	選択	
自然環境総合演習	2	選択	選択	
理科実験スキル (生物)	2	—	必修	
教材研究	1	—	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## 生命化学科科目

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		学科	教職コース	
物理学	2	選択	必修	
数学基礎	2	選択	選択	
化学基礎	2	選択	選択	
化学 I	2	必修	必修	
化学 II	2	必修	必修	
生命化学演習 I	1	必修	必修	
基礎化学実験	2	必修	必修	
分析化学	2	必修	必修	
生物学基礎	2	必修	必修	
環境生物科学	2	必修	必修	
有機化学 I	2	必修	必修	
生物学実験	2	必修	必修	
物理化学	2	選択	必修	
有機化学 II	2	必修	必修	
生物化学 I	2	必修	必修	
微生物学	2	必修	選択	
土壌圏科学	2	選択	選択	
食品製造科学	2	選択	選択	
コミュニケーションスキル	2	選択	選択	
食品加工実習 I	2	選択	選択	
食品加工実習 II	2	選択	選択	
生物統計学	2	選択	選択	
生物化学 II	2	必修	必修	
植物栄養学	2	選択	選択	
食品機能化学	2	選択	選択	
生命化学実験 I	4	必修	必修	
植物工場実習	2	選択	選択	
公衆衛生学	2	選択	選択	
植物生理学	2	選択	選択	
理科指導法 I	2	-	必修	
理科指導法 II	2	-	必修	
物理学実験	1	-	必修	

授業科目名	単位	履修条件		卒業要件
		学科	教職コース	
生物化学 III	2	必修	必修	
分子構造解析論	2	選択	選択	
栄養生理化学	2	選択	選択	
食品衛生学	2	選択	選択	
農薬化学	2	選択	選択	
細胞生物学	2	選択	選択	
環境地球化学	2	選択	選択	
専門領域研究	2	選択	選択	
生命化学実験 II	4	必修	必修	
ゲノム科学	2	選択	選択	
遺伝子化学	2	選択	選択	
有機合成化学	2	選択	選択	
天然物化学	2	選択	選択	
応用微生物学	2	選択	選択	
畜産物利用学	2	選択	選択	
インターンシップ	2	選択	選択	
生命化学演習 II	2	必修	-	
理科指導法 III	2	-	選択	
理科指導法 IV	2	-	選択	
地学	2	-	必修	
地学実験	1	-	必修	
理科実験スキル (化学)	2	-	必修	
生命化学演習 IIIA	2	必修	-	
卒業研究 I	4	必修	-	
卒業研究 II	4	必修	-	
卒業論文	2	必修	-	
生命化学演習 IIIB	2	必修	-	
理科実験スキル (生物)	2	-	必修	
教材研究	1	-	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

機械情報システム学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
工学基礎演習	1	選択	62 単 位 以 上
解析学 I	2	必修	
キャリアデザイン	2	必修	
工学基礎 I	2	選択	
プログラミング I	2	必修	
技術英語	2	選択	
数学演習	2	選択	
代数学 I	2	必修	
物理学 I	2	必修	
解析学 II	2	選択	
工学基礎 II	2	選択	
PBL I	1	必修	
物理学実験	1	必修	
直流回路	2	選択	
基礎工学 A	2	選択	
微分方程式 I	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
物理学 II	2	選択	
プログラミング II	2	選択	
交流回路	2	選択	
工学基礎実験	1	必修	
基礎工学 B	2	選択	
アルゴリズムとデータ構造	2	選択	
デジタルシチズンシップ	2	選択	
機械情報システム入門	2	必修	
機械工学概論	2	選択	
PBL II	1	選択	
直流回路演習	1	選択	
交流回路演習	1	選択	
コンピュータシステム	2	選択	
オペレーティングシステム	2	選択	
フーリエ解析	2	選択	
微分方程式 II	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
機械情報システム I	2	必修	
情報理論	2	選択	
論理回路	2	選択	
職業指導 I	2	選択	
職業指導 II	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
環境エネルギー概論	2	選択	62 単 位 以 上
電子回路	2	選択	
ロボティクス概論	2	選択	
工学専門実験 I	1	必修	
電磁気学	2	選択	
組込システム	2	選択	
エネルギー工学	2	選択	
ベクトル解析	2	選択	
計測工学	2	選択	
制御工学	2	選択	
工学専門実験 II	1	選択	
熱流体力学	2	選択	
インターンシップ I	1	選択	
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	
機械情報システム II	2	必修	
回路CAD	1	選択	
環境工学	2	選択	
プログラミング III	2	選択	
工業科指導法 I	2	選択	
工業科指導法 II	2	選択	
情報通信システム	2	選択	
研究室セミナー	2	選択	
卒業研究	4	必修	

※履修方法の詳細は学生要覧による



別表第2-①

ソフトウェアサイエンス学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
工学基礎演習	1	選択	62 単位 以上
数学演習	2	選択	
物理学 I	2	選択	
技術英語	2	選択	
工学基礎 I	2	選択	
プログラミング I	2	必修	
代数学 I	2	必修	
解析学 I	2	必修	
解析学 II	2	選択	
デジタルシチズンシップ	2	選択	
経営情報分析	2	選択	
情報処理技術	2	選択	
論理回路	2	選択	
回路基礎	2	選択	
微分方程式 I	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
工学基礎 II	2	選択	
フーリエ解析	2	選択	
シグナルプロセッシング	2	選択	
プログラミング II	2	必修	
ネットワーク技術 I	2	必修	
ゲーム企画開発論	2	選択	
アルゴリズムとデータ構造	2	選択	
コンピュータグラフィックス	2	選択	
情報システム	2	選択	
データ通信	2	選択	
ビジネスゲーム	2	必修	
微分方程式 II	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
幾何学 I	2	選択	
複素解析 I	2	選択	
オペレーティングシステム	2	選択	
情報理論	2	選択	
数値解析プログラミング	2	選択	
数学科指導法 I	2	選択	
情報科指導法 I	2	選択	
数学科指導法 II	2	選択	
情報科指導法 II	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
ユーザインタフェースデザイン	2	選択	62 単位 以上
システムプログラミング	2	選択	
ネットワークプログラミング	2	選択	
データベース	2	選択	
ネットワーク技術 II	2	選択	
代数学 II	2	選択	
企業講義	2	選択	
モバイルシステム総合研究	2	選択	
イメージプロセッシング	2	選択	
ゲームアニメーションプログラミング	2	選択	
マルチメディア処理	2	選択	
モバイルシステムサービス	2	選択	
プロジェクト研究	2	選択	
ソフトウェアサイエンス実験	2	必修	
インターンシップ I	1	選択	
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	
アルゴリズム応用	2	選択	
複素解析 II	2	選択	
数学科指導法 III	2	選択	
数学科指導法 IV	2	選択	
幾何学 II	2	選択	
情報セキュリティ	2	選択	
輪講	2	選択	
卒業研究	4	必修	
サブカルチャー論	2	選択	
ブレインソフトウェア	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

マネジメントサイエンス学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
導入ゼミ	2	必修	53 単 位 以 上
技術英語	2	選択	
プログラミング I	2	選択	
キャリアデザイン	2	必修	
代数学 I	2	必修	
解析学 I	2	必修	
数学演習	2	選択	
解析学 II	2	選択	
物理学 I	2	選択	
プロジェクトマネジメント	2	選択	
消費生活科学	2	選択	
デジタルシチズンシップ	2	選択	
微分方程式 I	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
マーケティング論	2	選択	
経営情報分析実習	1	必修	
ケースメソッド (実習科目)	1	必修	
プレゼミ	2	選択	
プログラミング II	2	選択	
原価計算	2	選択	
人間工学	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
幾何学 I	2	選択	
微分方程式 II	2	選択	
複素解析 I	2	選択	
数値解析プログラミング	2	選択	
数学科指導法 I	2	選択	
数学科指導法 II	2	選択	
トータルプロダクションマネジメント	2	選択	
統計的方法	2	選択	
サービスマネジメント	2	選択	
サービスイノベーション	2	選択	
ビジネスコンテンツ	2	必修	
キャリアトコミュニケーション	2	選択	
代数学 II	2	選択	
実験計画法	2	選択	
コストマネジメント	2	選択	
ベクトル解析	2	選択	
マネジメントサイエンスセミナー A	2	選択	
環境工学	2	選択	
外書講読	1	必修	
ケーススタディ I (実習科目)	1	必修	
マネジメントサイエンスセミナー B	2	選択	
複素解析 II	2	選択	
代数学 III	2	選択	
管理会計	2	選択	
トータルクオリティマネジメント	2	選択	
インターンシップ I	1	選択	
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
経済性分析	2	選択	
オペレーションズリサーチ	2	選択	
ヒューマンリソースマネジメント	2	選択	
経営戦略マネジメント	2	選択	
数学科指導法 III	2	選択	
数学科指導法 IV	2	選択	
ファイナンス	2	選択	
計量経済学	2	選択	
情報分析論	2	選択	
社会モデル	2	選択	
幾何学 II	2	選択	
ユニバーサルデザイン	2	選択	
品質マネジメントシステム	2	選択	
ケーススタディ II (実習科目)	1	必修	
幾何学 III	2	選択	
環境マネジメントシステム	2	選択	
新製品開発実習	1	選択	
数学とコンピュータ	1	選択	
意思決定論	2	選択	
最適化システム	2	選択	
卒業プロジェクト	4	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

エンジニアリングデザイン学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
導入ゼミ	2	必修	62 単 位 以 上
工学基礎演習	1	選択	
工学基礎 I	2	選択	
キャリアデザイン	2	必修	
数学演習	2	選択	
物理学 I	2	選択	
解析学 I	2	選択	
代数学 I	2	選択	
プログラミング I	2	選択	
解析学 II	2	選択	
工学基礎 II	2	選択	
物理学 II	2	選択	
微分方程式 I	2	選択	
確率統計学 I	2	選択	
プログラミング II	2	選択	
伝統文化と異文化理解	2	選択	
ファブラボ実験	1	必修	
スケッチと製図	1	必修	
機構学	2	選択	
経営システム工学概論	2	選択	
材料力学	2	必修	
微分方程式 II	2	選択	
生産管理	2	選択	
原価計算	2	選択	
サイエンス & テクノロジービジット	2	選択	
確率統計学 II	2	選択	
数値解析プログラミング	2	選択	
物理・化学	2	選択	
人間工学	2	選択	
発達障害と就労	2	選択	
製品製造失敗学	2	選択	
設計製図	1	必修	
物理・化学実験	1	選択	
工作実習	1	選択	
機械力学	2	選択	
情報倫理と社会	2	必修	
流体力学	2	選択	
材料と加工	2	選択	
リスクマネジメント	2	選択	
CAD	1	必修	
メカトロニクス	2	選択	
機械要素設計	2	選択	
インターンシップ I	1	選択	
インターンシップ II	1	選択	
インターンシップ III	1	選択	
海外研修	2	選択	
エンジニアリングデザインセミナー I	2	必修	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
バイオメテイクス	2	選択	62 単 位 以 上
工業デザイン	2	選択	
モデリングとシミュレーション	2	選択	
ユニバーサルデザイン	2	選択	
価値分析	2	選択	
エンジニアリングデザインセミナー II	2	必修	
卒業研究	4	必修	
品質管理	2	選択	
デジタル生産加工	2	選択	
技術経営	2	選択	
経営戦略	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 国際経営学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
マクロ経済学	2	必修	11 単位
ミクロ経済学	2	必修	
ESS A	1	必修	
ESS B	2	必修	
基礎数学	2	必修	
経営統計学	2	必修	
Intercultural Studies	2	必修	
企業論	2	必修	
基礎ファイナンス	2	必修	
Business English A	4	必修	
Business English B	4	必修	
専門基礎ゼミナール A	2	必修	
専門基礎ゼミナール B	2	必修	
企業倫理	2	必修	
インターンシップ A	2	選択	
インターンシップ B	2	選択	
国際会計基礎	4	選択	
マーケティング戦略	4	選択	
EPS A	2	必修	20 単位
EPS B	2	必修	
環境経営	2	選択	
人的資源管理	2	選択	
中小企業経営論	2	選択	
Strategic Management	4	選択	
経営塾	4	選択	
Global Business Studies	4	選択	
グローバルビジネスゼミナール A	2	選択	
グローバルビジネスゼミナール B	2	選択	
財務会計論	4	選択	
国際会計理論	4	選択	
国際会計ゼミナール A	2	選択	
国際会計ゼミナール B	2	選択	
パーソナル・ファイナンス	4	選択	
消費者行動論	4	選択	
販売管理・流通	4	選択	
マーケティング・リサーチ	4	選択	
マーケティングゼミナール A	2	選択	
マーケティングゼミナール B	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
経営法務	4	必修	16 単位
コーポレート・ファイナンス	4	選択	
Global Case Studies	4	選択	
グローバルビジネスゼミナール C	2	選択	
グローバルビジネスゼミナール D	2	選択	
管理会計論	4	選択	
国際会計ゼミナール C	2	選択	
国際会計ゼミナール D	2	選択	
Marketing Communication	4	選択	
New Product Management	4	選択	
マーケティングゼミナール C	2	選択	
マーケティングゼミナール D	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教育学概論	2	必修	
教職概論	2	必修	
教育の制度と経営	2	選択	
教育原理	2	選択	
教育哲学	2	選択	
教育史概論	2	選択	
教育心理学	2	選択	
教育方法学 (幼・小)	2	選択	
教育方法学 (中・高)	2	選択	
教育社会学	2	選択	
発達心理学	2	選択	
特別支援教育	2	選択	
教育行政学	2	選択	
生涯学習概論	2	選択	
理科指導法	2	選択	
図工科指導法	2	選択	
教育の方法と技術 (幼・小)	2	選択	
教育の方法と技術 (中・高)	2	選択	
国語	2	選択	
算数	2	選択	
理科	2	選択	
社会	2	選択	
家庭	2	選択	
生活	2	選択	
音楽	2	選択	
図工	2	選択	
体育 (幼・小)	2	選択	
保育内容総論	2	選択	
現代文明論	2	選択	
社会学	2	選択	
日本史	2	選択	
地理学 (地誌を含む)	2	選択	
経済学 (国際経済を含む)	2	選択	
安全教育	2	選択	
体育実技 (体操)	1	選択	
体育実技 (陸上)	1	選択	
体育実技 (スキー)	1	選択	
インターンシップ A	2	選択	
インターンシップ B	2	選択	
インターンシップ C	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
全人教育実践演習 A	2	必修	
全人教育実践演習 B	2	選択	
教育実践研究 I	1	必修	
教育実践研究 II	1	必修	
学習・発達論	2	選択	
教育課程編成論 (小)	2	選択	
教育課程編成論 (中・高)	2	選択	
道德教育の理論と方法 (小)	2	選択	
道德教育の理論と方法 (中)	2	選択	
特別活動の理論と方法 (小)	2	選択	
特別活動の理論と方法 (中・高)	2	選択	
コンピュータと学習支援 (幼・小)	2	選択	
コンピュータと学習支援 (中・高)	2	選択	
生徒・進路指導の理論と方法 (小)	2	選択	
生徒・進路指導の理論と方法 (中・高)	2	選択	
教育相談の理論と方法 (小)	2	選択	
教育相談の理論と方法 (中・高)	2	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択	
幼児教育課程論	2	選択	
幼児指導論	2	選択	
保育内容指導法 (健康)	2	選択	
保育内容指導法 (人間関係)	2	選択	
保育内容指導法 (環境)	2	選択	
保育内容指導法 (言葉)	2	選択	
保育内容指導法 (表現)	2	選択	
国語科指導法	2	選択	
社会科指導法	2	選択	
算数科指導法	2	選択	
生活科指導法	2	選択	
音楽科指導法	2	選択	
家庭科指導法	2	選択	
体育科指導法	2	選択	
社会科指導法 I (中学)	2	選択	
社会科指導法 II (中学)	2	選択	
社会公民科指導法 I	2	選択	
社会公民科指導法 II	2	選択	
外国史	2	選択	
法律学 (国際法を含む)	2	選択	
政治学 (国際政治を含む)	2	選択	
外国語活動の指導法	2	選択	
体育実技 (水泳)	1	選択	
体育実技 (ダンス)	1	選択	
体育実技 (球技 I)	1	選択	
体育原理	2	選択	
体育社会学	2	選択	
体育測定評価	2	選択	
生理学 (運動生理学を含む)	2	選択	
衛生学	2	選択	
公衆衛生学	2	選択	
学校保健	2	選択	
臨床心理学	2	選択	

## 別表第2-①

## 教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
現代教育研究 I	2	必修	
現代教育研究 II	2	必修	
総合学習の指導法	2	選択	
保健体育科指導法 I	2	選択	
保健体育科指導法 II	2	選択	
保健体育科指導法 III	2	選択	
保健体育科指導法 IV	2	選択	
運動部活動の指導法	2	選択	
体育実技 (総合 A)	1	選択	
体育実技 (総合 B)	1	選択	
体育実技 (球技 II)	1	選択	
体育実技 (武道)	1	選択	
体育心理学	2	選択	
体育経営管理学	2	選択	
運動学 (運動方法学を含む)	2	選択	
教育実習 (幼稚園)	5	選択	
教育実習 (小学校)	5	選択	
教育実習 (中学校)	5	選択	
教育実習 (高等学校)	3	選択	
教育実習 (副・幼稚園)	3	選択	
教育実習 (副・小学校)	3	選択	
教育実習 (副・中学校)	3	選択	
教育実習 (副・高等学校)	3	選択	
卒業課題研究 I	2	必修	
卒業課題研究 II	2	必修	
教職実践演習 (幼)	2	選択	
教職実践演習 (小)	2	選択	
教職実践演習 (中・高)	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 乳幼児発達学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
教育学概論	2	必修	
教職概論	2	必修	
教育哲学	2	選択	
教育史概論	2	選択	
教育心理学	2	選択	
教育社会学	2	選択	
発達心理学	2	選択	
特別支援教育	2	選択	
教育原理	2	選択	
教育の制度と経営	2	選択	
教育行政学	2	選択	
保育内容総論	2	選択	
保育原理	2	選択	
児童学	2	選択	
社会福祉	2	選択	
子どもの保健I	2	選択	
国語	2	選択	
算数	2	選択	
生活	2	選択	
図工 (幼)	2	選択	
インターンシップ A	2	選択	
インターンシップ B	2	選択	
インターンシップ C	2	選択	
全人教育実践演習 A	2	必修	
全人教育実践演習 B	2	選択	
教育実践研究 I	1	必修	
教育実践研究 II	1	必修	
学習・発達論	2	選択	
教育方法学	2	選択	
幼児教育課程論	2	選択	
教育の方法と技術	2	選択	
幼児理解と教育相談	2	選択	
幼児指導論	2	選択	
保育内容指導法 (健康)	2	選択	
保育内容指導法 (人間関係)	2	選択	
保育内容指導法 (環境)	2	選択	
保育内容指導法 (言葉)	2	選択	
保育内容指導法 (表現)	2	選択	
コンピュータと学習支援	2	選択	
音楽 (幼)	2	選択	
体育 (幼)	2	選択	
子ども家庭福祉	2	選択	
子どもの保健 II	2	選択	
子どもの保健演習	1	選択	
乳児保育 I	1	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
現代教育研究 I	2	必修	
現代教育研究 II	2	必修	
社会的養護	2	選択	
子どもの食と栄養	2	選択	
乳児保育 II	1	選択	
社会的養護内容	1	選択	
家族支援論	2	選択	
障がい児保育 I	1	選択	
障がい児保育 II	1	選択	
保育実習指導 I	2	選択	
保育実習I	4	選択	
卒業課題研究 I	2	必修	
卒業課題研究 II	2	必修	
教育実習 (幼稚園1種)	5	選択	
教職実践演習 (幼)	2	選択	
相談援助	1	選択	
保育相談支援	1	選択	
子どもの遊びと育ち	2	選択	
児童文化	2	選択	
子どもと家族の福祉	2	選択	
保育実践論 A	2	選択	
保育実践論 B	2	選択	
保育実践論 C	2	選択	
保育実習指導 II	1	選択	
保育実習指導 III	1	選択	
保育実習 II	2	選択	
保育実習 III	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## パフォーマンス・アーツ学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
パフォーマンス・アーツ概論	2	必修	
音楽通論	2	選択	
劇場空間研究	2	選択	
日本演劇・舞踊史	2	選択	
西洋演劇・舞踊史	2	選択	
身体表現 I	2	必修	
音楽表現 I	2	必修	
舞台技術・企画構想 I	2	必修	
パフォーマンス I	2	必修	
パフォーマンス II	2	必修	
身体表現 II	4	選択	
音楽表現 II	4	選択	
舞台技術・企画構想 II	4	選択	
構成演出論	2	選択	
文化政策概論	2	選択	
ジャパン・アーツ	2	選択	
身体表現 III	4	選択	
音楽表現 III	4	選択	
舞台技術・企画構想 III	4	選択	
パフォーマンス III	2	必修	
パフォーマンス IV	2	選択	
芸術プロジェクト A	2	選択	
芸術プロジェクト B	2	選択	
作家研究	2	選択	
作品研究	2	選択	
パフォーマンス・アーツ演習	2	選択	
身体表現上級 I	4	選択	
音楽表現上級 I	4	選択	
舞台技術上級 I	4	選択	
企画構想上級 I	4	選択	
身体表現上級 II	4	選択	
音楽表現上級 II	4	選択	
舞台技術上級 II	4	選択	
企画構想上級 II	4	選択	
パフォーマンス V	2	選択	
パフォーマンス VI	2	選択	
芸術プロジェクト C	2	選択	
インターンシップ	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
芸術応用 (アウトリーチ)	2	選択	
芸術社会学	2	選択	
卒業プロジェクト演習 (パフォーマンス)	2	選択	
身体表現上級 III	4	選択	
音楽表現上級 III	4	選択	
舞台技術上級 III	4	選択	
企画構想上級 III	4	選択	
身体表現上級 IV	4	選択	
音楽表現上級 IV	4	選択	
舞台技術上級 IV	4	選択	
企画構想上級 IV	4	選択	
パフォーマンス VII	2	選択	
パフォーマンス VIII	2	選択	
卒業創作・公演・演奏・論文	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による



## 別表第2-①

## メディア・デザイン学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
メディア・デザイン概論	2	必修	
メディア・デザイン理論基礎 I	2	必修	
メディア・デザイン理論基礎 II	2	必修	
メディア・デザイン演習基礎 I	2	必修	
メディア・デザイン演習基礎 II	2	必修	
美学美術史基礎	2	選択	
デザイン論	2	選択	
コンピュータ音楽技法	2	選択	
音楽制作論	2	選択	
平面造形基礎	2	選択	
グラフィックデザイン基礎	2	選択	
CG・映像メディア表現基礎	2	選択	
コンピュータ・グラフィックス基礎	2	選択	
映像表現基礎	2	選択	
空間演出基礎	2	選択	
光演出基礎	2	選択	
MIDI音楽制作	2	選択	
コンピュータ音楽基礎	2	選択	
メディア・デザイン・プロジェクト A	2	選択	
メディア・デザイン・プロジェクト B	2	選択	
文化立国論	2	必修	
国際日本学	2	必修	
造形理論 A	2	選択	
造形理論 B	2	選択	
コンピュータ音楽制作論	2	選択	
サウンドデザイン	2	選択	
グラフィックデザイン I	2	選択	
グラフィックデザイン II	2	選択	
コンピュータ・グラフィックス I	2	選択	
コンピュータ・グラフィックス II	2	選択	
映像メディア表現 I	2	選択	
映像メディア表現 II	2	選択	
光・空間演出 I	2	選択	
光・空間演出 II	2	選択	
WEBデザイン I	2	選択	
WEBデザイン II	2	選択	
総合造形 I	2	選択	
総合造形 II	2	選択	
音楽プログラミング	2	選択	
コンピュータ音楽	2	選択	
デザイン史	2	選択	
写真史	2	選択	
映像芸術論	2	選択	
アニメーション・漫画論	2	選択	
色彩学	2	選択	
文化産業経営論	2	選択	
ピッチクラス集合論	2	選択	
シェンカー理論	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
現代音楽史	2	選択	
アーツ・イン・コミュニティ	2	選択	
ディスプレイデザイン	2	選択	
構成学演習	2	選択	
フラワーデザイン	2	選択	
タイポグラフィ基礎演習	2	選択	
デジタルタイポグラフィ	2	選択	
インターンシップ	2	選択	
メディア・デザイン・プロジェクト C	2	選択	
メディア・デザイン・プロジェクト D	2	選択	
Arts in English I	2	選択	
Arts in English II	2	選択	
芸術表現学	2	必修	
芸術コミュニケーション演習	2	必修	
メディア・デザイン研究 I	2	必修	
メディア・デザイン研究 II	2	必修	
芸術理論研究 I	2	必修	
芸術理論研究 II	2	必修	
メディア・デザイン専門研究 I	2	選択	
メディア・デザイン専門研究 II	2	選択	
Arts in English III	2	選択	
Arts in English IV	2	選択	
卒業プロジェクト演習 I	2	必修	
卒業プロジェクト演習 II	2	必修	
卒業研究	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表第2-①

## 芸術教育学科科目

授業科目名	単位	履修条件	音楽 コース	美術・ 工芸 コース	卒業要件
芸術教育概論	2	必修	★	★	
英語コミュニケーション	2	選択	★	★	
Arts Education A	2	選択	★	★	
Arts Education B	2	選択	★	★	
ソルフェージュ	2	選択	★		
声楽基礎	2	選択	★		
鍵盤楽器基礎 I	2	選択	★		
鍵盤楽器基礎 II	2	選択	★		
管・打楽器基礎	2	選択	★		
弦楽器基礎	2	選択	★		
絵画基礎	2	選択		★	
彫刻基礎	2	選択		★	
工芸基礎	2	選択		★	
デザイン基礎	2	選択		★	
Arts Criticism	2	選択	★	★	
Theory and Practice I	2	選択	★	★	
インターンシップ	2	選択	★	★	
和声学	2	選択	★		
合奏	2	選択	★		
合唱	2	選択	★		
伴奏法	2	選択	★		
声楽 I	2	選択	★		
声楽 II	2	選択	★		
鍵盤楽器 I	2	選択	★		
鍵盤楽器 II	2	選択	★		
器楽 I	2	選択	★		
器楽 II	2	選択	★		
作曲 I	2	選択	★		
作曲 II	2	選択	★		
指揮法	2	選択	★		
西洋音楽史	2	選択	★		
日本音楽史	2	選択	★		
音楽科指導法 I	2	選択	★		
音楽科指導法 II	2	選択	★		
デザイン理論	2	選択		★	
映像メディア表現基礎	2	選択		★	
図法・製図	2	選択		★	
工芸理論	2	選択		★	
色彩学	2	選択		★	
書道	2	選択		★	
絵画 I	2	選択		★	
絵画 II	2	選択		★	
彫刻 I	2	選択		★	
彫刻 II	2	選択		★	
デザイン I	2	選択		★	
デザイン II	2	選択		★	

授業科目名	単位	履修条件	音楽 コース	美術・ 工芸 コース	卒業要件
西洋美術史 A	2	選択		★	
西洋美術史 B	2	選択		★	
日本美術史 A	2	選択		★	
日本美術史 B	2	選択		★	
東洋美術史	2	選択		★	
工芸史	2	選択		★	
工芸 I	2	選択		★	
工芸 II	2	選択		★	
美術科・工芸科指導法 I	2	選択		★	
美術科・工芸科指導法 II	2	選択		★	
芸術表現演習	2	選択	★	★	
Theory and Practice II	2	選択	★	★	
作曲法	2	選択	★		
鑑賞教育理論 (音楽)	2	選択	★		
音楽科指導法 III	2	選択	★		
鑑賞教育理論 (美術)	2	選択		★	
美術科指導法 I	2	選択		★	
芸術教育研究 I	2	必修	★	★	
Research and Practice	2	選択	★	★	
感性教育論	2	選択	★	★	
民族音楽概説	2	選択	★		
音楽科指導法 IV	2	選択	★		
美術科指導法 II	2	選択		★	
芸術教育研究 II	2	必修	★	★	
芸術教育研究 III	2	必修	★	★	

★コース推奨科目

※履修方法の詳細は学生要覧による

別表2-①

## リベラルアーツ学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件	授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
リベラルアーツセミナー	1	必修	必修7単位・選択12単位	検定英語 B	2	選択	選択10単位
リベラルアーツ入門	2	必修		English Communication Advanced A	2	選択	
ブリッジ講座	2	選択		English Communication Advanced B	2	選択	
Introduction to LA Education	2	選択		English Workshop A	2	選択	
日本文学概論	2	選択		English Workshop B	2	選択	
キャリアセミナー I	2	必修		フィールドリサーチ	2	選択	
キャリアセミナー II	2	必修		インターンシップ	2	選択	
English Grammar	2	選択		学外実践実習 A	1	選択	
英米文学概説	2	選択		学外実践実習 B	2	選択	
漢文学	2	選択		学外実践実習 C	3	選択	
教育心理学概論	2	選択		日本語教育実習 A	1	選択	
芸術応用演習 A	2	選択		日本語教育実習 B	2	選択	
言語心理学	2	選択		異文化間コミュニケーション	2	選択	
児童英語	2	選択		英語圏文化研究	2	選択	
社会調査法	4	選択		科学コミュニケーション文献講読	2	選択	
社会分析基礎論	2	選択		古典文学演習 II	2	選択	
書道	2	選択		児童英語応用演習 B	2	選択	
心理統計学	2	選択		社会学演習	2	選択	
スポーツ心理学	2	選択		社会調査実習 II	2	選択	
デジタルデザイン入門	2	選択		心理学基礎実験 I	2	選択	
日本語語彙論	2	選択		性格心理学	2	選択	
日本語教育概論	2	選択		生理心理学	2	選択	
日本語文法論 I	2	選択		デジタルアートマネジメント	2	選択	
日本思想史	2	選択		日本語学演習	2	選択	
日本文学史	2	選択		日本語史	2	選択	
人間と自然	2	選択		日本語指導法 I	2	選択	
民俗学入門	2	選択		認知心理学	2	選択	
英語音声学	2	選択		ビジネスイングリッシュ	2	選択	
科学教育	2	選択		メディアと文化	2	選択	
科学とデザイン	2	選択		インフォーマルラーニング	2	選択	
鑑賞批評論	2	選択		科学コミュニケーション応用演習	2	選択	
芸術応用演習 B	2	選択		漢文学研究	2	選択	
古典文学演習 I	2	選択		近代文学演習	2	選択	
児童英語応用演習 A	2	選択		芸術表現研究	2	選択	
児童心理学	2	選択		健康心理学	2	選択	
社会学文献講読	2	選択		産業経営心理学	2	選択	
社会心理学	2	選択		児童英語研究	2	選択	
社会調査実習 I	2	選択		社会学研究	2	選択	
心理学研究法	2	選択		心理学基礎実験 II	2	選択	
日本語音韻論	2	選択		日本語学研究	2	選択	
日本語教育演習	2	選択		日本語教育特殊研究	2	選択	
日本語文法論 II	2	選択		日本語指導法 II	2	選択	
日本文学演習	2	選択		日本文学研究	2	選択	
人間工学入門	2	選択		発達心理学概論	2	選択	
民俗学研究	2	選択		プロジェクトセミナー I	2	選択	
プレゼンテーションスキル A	2	選択	プロジェクトセミナー II	2	選択		
プレゼンテーションスキル B	2	選択	国語科指導法 I	2	選択		
キャリアプランニング	2	選択	国語科指導法 II	2	選択		
検定英語 A	2	選択					

別表2-①

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
プロジェクトセミナーⅢ	2	選択	
プロジェクトセミナーⅣ	2	選択	
プロジェクト	2	選択	
国語科指導法Ⅲ	2	選択	
国語科指導法Ⅳ	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-①

## 観光学科科目

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
観光学概論	4	必修	12 単 位
College English I	2	必修	
観光地理学	2	必修	
観光史	2	必修	
College English II	2	必修	
College English III	2	必修	46 単 位 以 上
リサーチ・メソッド	2	必修	
観光社会学	4	選択	
国際観光論	4	選択	
観光経営学	4	選択	
観光・ホスピタリティ事業論	4	選択	
観光政策・行政論	4	選択	
destination・マーケティング	4	選択	
English for Specific Purposes I	2	選択	
English for Business Purposes I	3	選択	
Business Communication I	2	選択	
Intercultural Communication	2	選択	
Intercultural Case Studies	2	選択	
Methods for Analysis	2	選択	
インターンシップ A	2	必修	
インターンシップ B	2	必修	
English for Specific Purposes II	2	選択	
English for Business Purposes II	3	選択	
Business Communication II	2	選択	
Communicative Skills in English	2	選択	
Tourism & Hospitality Studies	3	選択	
Management & Marketing Systems	3	選択	
College Reading & Writing I	2	必修	
観光学ゼミナール I	2	必修	
観光開発論	4	選択	
観光行動論	4	選択	
観光文化論	4	選択	
旅行事業論	4	選択	
宿泊事業論	4	選択	
航空事業論	4	選択	
観光キャリア論	2	選択	
地域文化論	2	選択	
交通事業論	2	選択	
観光関連法規	2	選択	
観光文献講読	2	選択	
ホスピタリティ・マネジメント	2	選択	

授業科目名	単位	履修条件	卒業要件
College Reading & Writing II	2	必修	
観光まちづくり関連法規	2	選択	
サービス・マーケティング	2	選択	
異文化交流論	2	選択	
国際協力	2	選択	
観光経済学	2	選択	
観光メディア論	2	選択	
アート・ツーリズム	2	選択	
イベント・ツーリズム	2	選択	
エコ・ツーリズム	2	選択	
観光財務情報分析	2	選択	
観光学ゼミナール II	2	選択	
College Reading & Writing III	2	選択	
観光情報システム	2	選択	
ホスピタリティ論	2	選択	
観光学ゼミナール III	2	選択	
卒業論文	2	選択	

※履修方法の詳細は学生要覧による

## 別表第2-②

## 芸術専攻科芸術専攻

授業科目	単位数	備考
A群《共通必修科目》		
芸術専攻演習Ⅰ	2	
芸術専攻演習Ⅱ	2	
修了プロジェクト	8	
B群《共通選択科目》		
芸術特別研究A（音楽系）	2	
芸術特別研究B（舞台美術系）	2	
芸術特別研究C（美術系）	2	
芸術教育研究	2	
C群《選択必修》		
芸術専門研究Ⅰ	4	
芸術専門研究Ⅱ	4	
専門特殊研究Ⅰ	4	
専門特殊研究Ⅱ	4	
実技専門研究Ⅰ（音楽）	8	
実技専門研究Ⅱ（音楽）	8	
実技専門研究Ⅰ（美術）	8	
実技専門研究Ⅱ（美術）	8	
実技専門研究Ⅰ（舞台芸術）	8	
実技専門研究Ⅱ（舞台芸術）	8	

## 履修方法

- (1) A群《共通必修科目》を履修し、12単位を修得しなければならない。
- (2) B群《共通選択科目》より科目を選択し、2単位以上を修得しなければならない。
- (3) C群《選択必修科目》より各々の専門分野に従い16単位を修得しなければならない。
- (4) 本専攻科を修了するには、上記第1項、第2項及び第3項の要件を満たし、合計30単位以上を修得しなければならない。

別表第3-①

学部	学科		免許状の種類	教科	
文学部	人間学科		中学校教諭1種免許状	社会	
			高等学校教諭1種免許状	公民	
	英語教育学科		中学校教諭1種免許状	英語	
			高等学校教諭1種免許状	英語	
農学部	生物資源学科		中学校教諭1種免許状	理科	
			高等学校教諭1種免許状	理科・農業	
	生物環境システム学科		中学校教諭1種免許状	理科	
			高等学校教諭1種免許状	理科・農業	
	生命化学科		中学校教諭1種免許状	理科	
			高等学校教諭1種免許状	理科	
工学部	機械情報システム学科		高等学校教諭1種免許状	工業	
	ソフトウェアサイエンス学科		中学校教諭1種免許状	数学	
			高等学校教諭1種免許状	数学・情報	
	マネジメントサイエンス学科		中学校教諭1種免許状	数学	
			高等学校教諭1種免許状	数学	
	教育学部	教育学科		幼稚園教諭1種免許状	
小学校教諭1種免許状					
中学校教諭1種免許状				社会・保健体育	
高等学校教諭1種免許状				公民・保健体育	
乳幼児発達学科		幼稚園教諭1種免許状			
芸術学部	芸術教育学科	音楽コース	中学校教諭1種免許状	音楽	
			高等学校教諭1種免許状	音楽	
		美術・工芸コース	中学校教諭1種免許状	美術	
			高等学校教諭1種免許状	美術・工芸	
	リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科		中学校教諭1種免許状	国語
				高等学校教諭1種免許状	国語

## 別表第 3 - ②

専攻科名	免許状の種類	教科
芸術専攻科芸術専攻	中学校教諭専修免許状	音楽
		美術
	高等学校教諭専修免許状	音楽
		美術

## 履修方法

免許状の種類	基礎資格	専攻科における修得単位数
中学校教諭専修免許状（音楽）	中学校教諭 1 種免許状（音楽）	24単位以上
中学校教諭専修免許状（美術）	中学校教諭 1 種免許状（美術）	
高等学校教諭専修免許状（音楽）	高等学校教諭 1 種免許状（音楽）	24単位以上
高等学校教諭専修免許状（美術）	高等学校教諭 1 種免許状（美術）	



別表第4-①

(単位は円)

学部・学 項		文学部		農学部		工学部	経営学部	教育学部	芸術学部	リベラルアーツ学部	観光学部
		人間学科	*英語教育学科	生物資源学科	*生物環境システム学科	機械情報システム学科 ソフトウェアサイエンス学科 マネジメントサイエンス学科 エンジニアリングデザイン学科	国際経営学科	教育学科 乳幼児発達学科	パフォーマンス・アーツ学科 メディア・デザイン学科 芸術教育学科	リベラルアーツ学科	*観光学科
授業料	1年次	1,008,000	1,008,000	1,032,000	1,032,000	1,088,000	1,008,000	1,008,000	1,178,000	1,008,000	1,008,000
	2年次	1,018,000	1,018,000	1,042,000	1,042,000	1,098,000	1,018,000	1,018,000	1,188,000	1,018,000	1,018,000
	3年次	1,028,000	1,028,000	1,052,000	1,052,000	1,108,000	1,028,000	1,028,000	1,198,000	1,028,000	1,028,000
	4年次	1,038,000	1,038,000	1,062,000	1,062,000	1,118,000	1,038,000	1,038,000	1,208,000	1,038,000	1,038,000
教育研究諸料	1年次	205,200	205,200	275,200	275,200	275,200	205,200	215,200	245,200	205,200	205,200
	2年次	205,200	留学授業料との差額を転嫁(備考9)	275,200	留学授業料との差額を転嫁(備考9)	275,200	205,200	215,200	245,200	205,200	留学授業料との差額を転嫁(備考9)
	3年次	205,200		275,200	275,200	205,200	215,200	245,200	205,200		
	4年次	205,200	205,200	275,200	275,200	275,200	205,200	215,200	245,200	205,200	205,200
施設設備金	1年次	200,000	200,000	250,000	250,000	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
	2年次	200,000	200,000	250,000	250,000	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
	3年次	200,000	200,000	250,000	250,000	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
	4年次	200,000	200,000	250,000	250,000	270,000	200,000	200,000	280,000	200,000	200,000
入学金		250,000		250,000		250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
入学検定料		35,000		35,000		35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000

- 備考 1. 休学期間中は、在籍料として当該年次の授業料、教育研究諸料及び施設設備金の2分の1相当額とする。
2. 留学期間中は、在籍料として当該年次の教育研究諸料、施設設備金を納入するものとする。
3. 玉川大学 玉川学園女子短期大学からの編入学者は、入学金を徴収しない。
4. 卒業延期者の納付金は、授業料を単位制、在籍料として教育研究諸料及び施設設備金を徴収することができる。
5. 全学統一試験入学試験（一般入学試験）において、他学科を併願する際の入学検定料は、2学科目より1学科につき10,000円とする。
6. 学部別入学試験（一般入学試験）において、同一学科又は他学科を併願する際の入学検定料は、2学科目を20,000円とする。  
ただし、当該年度所定の学部別入学試験日程枠を超えて受験する場合にはその限りではない。
7. 大学入試センター試験利用入学試験の入学検定料は1学科18,000円とし、他学科を併願する際には、2学科目より1学科につき10,000円とする。
8. 教職課程の受講料及び学芸員資格取得に関する費用は、別途に定める。
9. \*学科の留学費用は留学当該年次セメスター授業料と施設設備金が当てられ、差額分は教育研究諸料に転嫁される。  
留学授業料の最終決定は該当年の留学授業料と2月の為替レートで円換算し決定される。  
現時点の参考留学授業料（英語教育学科 US\$13,040 生物環境システム学科 CAN\$5,240 観光学科 AUD\$17,360）

別表第4-②

(単位は円)

専攻	項目	授業料	教育研究諸料	施設設備金	入学金	入学検定料
芸術専攻科芸術専攻		1,148,000	175,200	160,000	150,000	35,000

- 備考 1. 休学期間中は、在籍料として当該年次の授業料、教育研究諸料及び施設設備金の2分の1相当額とする。
2. 玉川大学からの進学者は、入学金を徴収しない。